



KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub PRO **1200/1051**

オペレーションクイックガイド



- 第1章 ご使用いただく前に
- 第2章 コピーする
- 第3章 プリントする
- 第4章 スキャンする
- 第5章 困ったときには
- 第6章 付録

はじめに

このたびは、bizhub PRO 1200/1051 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このクイックガイドは、本製品の持っている機能のうち、よく使われる便利な機能のみを抜粋して、操作手順を中心に説明しています。

その他の詳しい機能や、詳細な説明については、それぞれのユーザズガイドをごらんください。



必ず守ってください

- 安全な取り扱いをしていただくため、機械の操作方法および使用上の注意事項については、「ユーザズガイド (コピー編)」をご一読ください。

Copyright

Copyright © 2009 SOFHA GmbH, Germany.

Copyright © 2009 コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA □ゴ、essential of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。

bizhub, bizhub PRO、PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。

SOFHA は、ドイツの SOFHA GmbH 社の登録商標です。

Citrix、MetaFrame、MetaFrameXP、Citrix Presentation Server™ は、米 Citrix Systems, Inc. およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

AppleTalk、Macintosh、および MacOS は、米国および他の国で登録されている Apple Computer, Inc. の商標です。

Adobe、Adobe □ゴ、Acrobat、Acrobat □ゴ、PostScript および PostScript □ゴ は、Adobe Systems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の企業名および製品名は、該当各社の（登録）商標です。

- コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社または SOFHA GmbH は、本プリンティングシステムおよび本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- すべての仕様は、事前の通告なしに変更されることがあります。
- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- プリンタードライバーの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社または SOFHA GmbH にあります。

もくじ

本書の使い方	iii
マニュアル体系について	iv
よく使う便利な機能	vi
小冊子	vi
折り機能	vi
インデックス紙への印字	vi
製本する	vii
ページごとに設定を変更してプリントする	vii
スキャンデータを E-mail に添付する	vii
スキャンデータを SMB サーバーに送る	vii
第 1 章 : ご使用いただく前に	1-1
電源のオン / オフ	1-2
電源を入れる	1-2
電源を切る	1-4
トレイに用紙をセットする	1-6
用紙について	1-6
坪量と用紙種類について	1-6
用紙サイズと枚数について	1-7
用紙をセットする (トレイ 1、2 の場合)	1-8
用紙をセットする (PF-702 の場合)	1-9
用紙をセットする (PF-703 の場合)	1-10
本体に用紙情報を登録する	1-11
登録の前に	1-11
用紙条件を登録する	1-11
トレイにサイズ、用紙条件を設定する	1-14
プリンタードライバーのインストール	1-18
プリンタードライバーのインストール	1-18
装置情報の更新	1-21
第 2 章 : コピーする	2-1
小冊子としてコピーする	2-2
9 ページの文書を小冊子にする場合	2-2
こんなことができます	2-5
折り機能を使う	2-7
Z 折りを設定する :	2-8
重ね中折りを設定する :	2-10
重ね 3 つ折りを設定する :	2-12
こんなことができます	2-13
インデックス紙を使う	2-14
インデックス紙にコピーする場合	2-14
10 ページごとにインデックス紙を挿入する場合	2-16
こんなことができます	2-19
製本する	2-20
くるみ製本を設定する	2-21
こんなことができます	2-25
第 3 章 : プリントする	3-1
プリンタードライバーについて	3-2



プリンタードライバーの印刷設定画面	3-3
印刷設定画面を表示する	3-3
小冊子としてプリントする	3-4
9 ページの小冊子にする場合	3-4
こんなことができます	3-6
折り機能を使う	3-7
折りを設定する	3-9
こんなことができます	3-10
インデックス紙を挿入する	3-11
10 ページごとにインデックス紙を挿入する場合	3-11
こんなことができます	3-13
ページごとに設定を変更してプリントする	3-14
ページ単位の設定を行う	3-14
製本する	3-16
くるみ製本を設定する	3-17
こんなことができます	3-20
第 4 章 : スキャンする	4-1
スキャンについて	4-2
Scan to E-Mail	4-3
スキャンデータを E-mail に添付する	4-3
Scan to SMB	4-5
スキャンデータを SMB サーバーに送る	4-5
第 5 章 : 困ったときには	5-1
トナーを補給する	5-2
ジャム処理	5-6
モアレの発生について	5-7
ToneCurve Utility を使用する	5-8
表裏の位置を調整する	5-11
[表裏調整] 機能を使う	5-11
[チャート調整] 機能を使う	5-13
折り、綴じ位置、断裁量を調整する	5-16
パンチ穴を調整する	5-17
設定がうまく機能しない	5-20
ネットワーク接続について	5-20
その他のトラブルについて	5-21
第 6 章 : 付録	6-1
本機のネットワーク設定について	6-2
TCP/IP を有効にする	6-2
SMB 機能を有効にする	6-4
E-Mail 送信設定を行う	6-6
SMB フォルダーの準備について	6-8
デスクトップに共有フォルダーを作成する	6-8
坪量 / 連量換算について	6-9
オプションの仕様	6-10

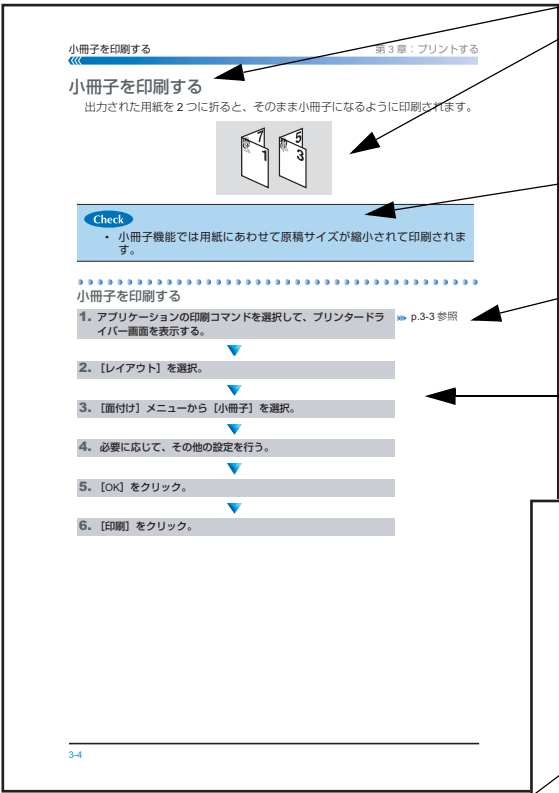
本書の使い方

タイトルとイラストによって、操作の目的と機能イメージがわかります。

操作の前に確認が必要な内容を記載しています。

さらに詳しく書かれているページを記載しています。

操作手順をチャート形式で記載しています。



小冊子を印刷する

第3章：プリントする

小冊子を印刷する

出力された用紙を2つに折ると、そのまま小冊子になるように印刷されます。

Check

- 小冊子機能では用紙にあわせて原稿サイズが縮小されて印刷されます。

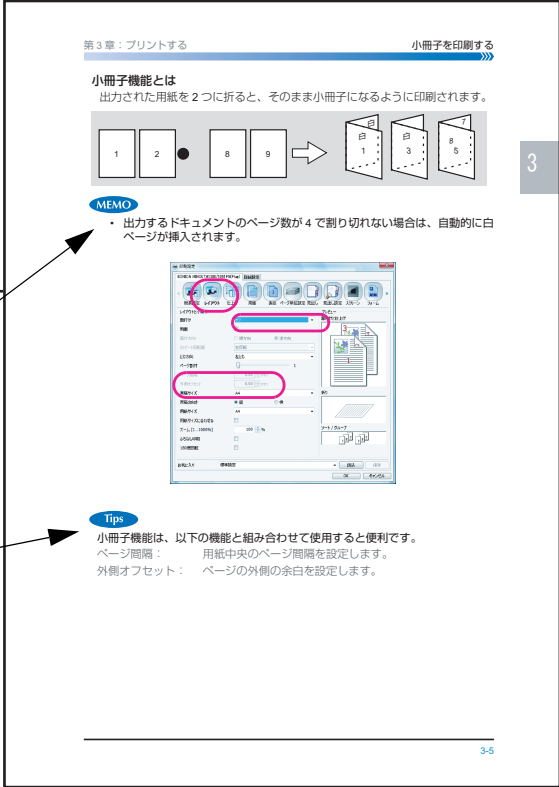
小冊子を印刷する

- アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバ画面を表示する。▶ p.3-3 参照
- 【レイアウト】を選択。
- 【面付け】メニューから【小冊子】を選択。
- 必要に応じて、その他の設定を行う。
- 【OK】をクリック。
- 【印刷】をクリック。

3-4

知っておくと理解しやすい補足説明を記載しています。

組み合わせて使うと便利な機能を記載しています。



第3章：プリントする

小冊子を印刷する

小冊子機能とは

出力された用紙を2つに折ると、そのまま小冊子になるように印刷されます。

MEMO

- 出力するドキュメントのページ数が4で割り切れない場合は、自動的に白ページが挿入されます。

Tips

小冊子機能は、以下の機能と組み合わせて使用すると便利です。

ページ間隔：用紙中央のページ間隔を設定します。

外側オフセット：ページの外側の余白を設定します。

3-5

MEMO

- このページは、実際には存在しません。



マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイドが用意されています。

ユーザーズガイド（コピー編）【印刷物】【User's Guide CD】

機械の概要やコピー操作について記載しています。

設置・取扱の注意事項、電源の入れ方 / 切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたや、機械のコピーに関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（POD 管理者編）【印刷物】【User's Guide CD】

日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズ設定したり、機械を管理する方法を記載しています。

用紙の登録やトレイの調整、ネットワーク設定を含む機械の設定や管理に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（セキュリティ編）【印刷物】【User's Guide CD】

セキュリティ機能について記載しています。

セキュリティ強化機能の使い方、セキュリティ強化機能使用時の機械の操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（ネットワークスキャナー編）【印刷物】【User's Guide CD】

ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。

保存、読出し機能、スキャナー（Scan to HDD、Scan to E-mail、Scan to FTP、Scan to SMB）の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

商標 / ライセンス【User's Guide CD】

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド（プリンター編）【User's Guide CD】

プリンター機能の操作について記載しています。

PCL ドライバー、Adobe PS ドライバー、PageScope Web Connection のユーザーモードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（プリンター（PostScript3_Plug-in ドライバー）編）【User's Guide CD】

プリンター機能の操作について記載しています。

PS Plug-in ドライバーのユーザーモードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。



オペレーションクイックガイド<本書>【印刷物】

本機がよく使われる機能について操作手順を中心に記載しています。本機の特長を理解したい場合は、このガイドをごらんください。

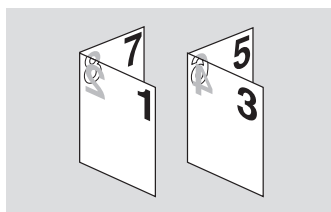
- 安全に正しくお使いになるため、操作の前に必ずユーザーズガイド コピー編「第 1 章 設置・取扱いの注意」をお読みください。



よく使う便利な機能

小冊子

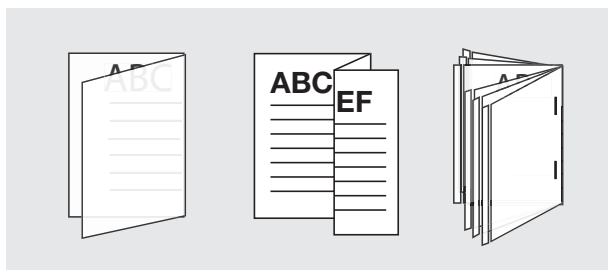
出力した用紙を2つに折ると、そのまま小冊子として使用できます。



- ▶▶ コピー機能：
p.2-2 参照
- ▶▶ プリンター機能：
p.3-4 参照

折り機能

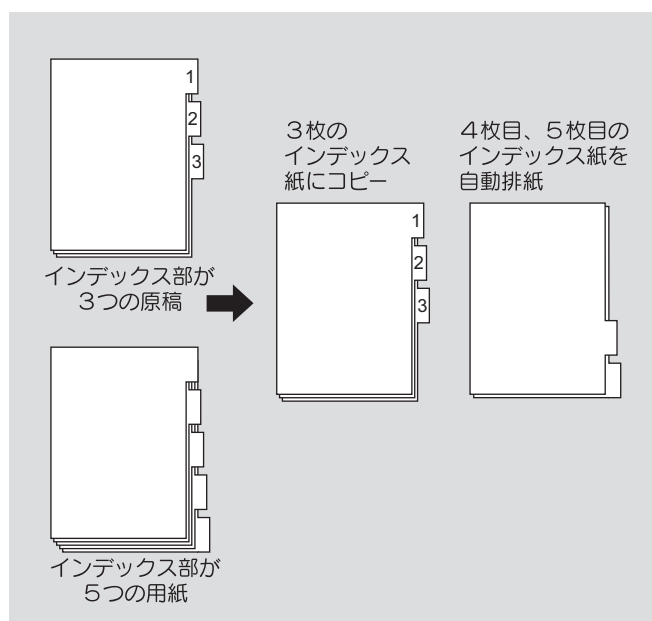
出力した用紙に対して、さまざまな折り設定ができます。



- ▶▶ コピー機能：
p.2-7 参照
- ▶▶ プリンター機能：
p.3-7 参照

インデックス紙への印字

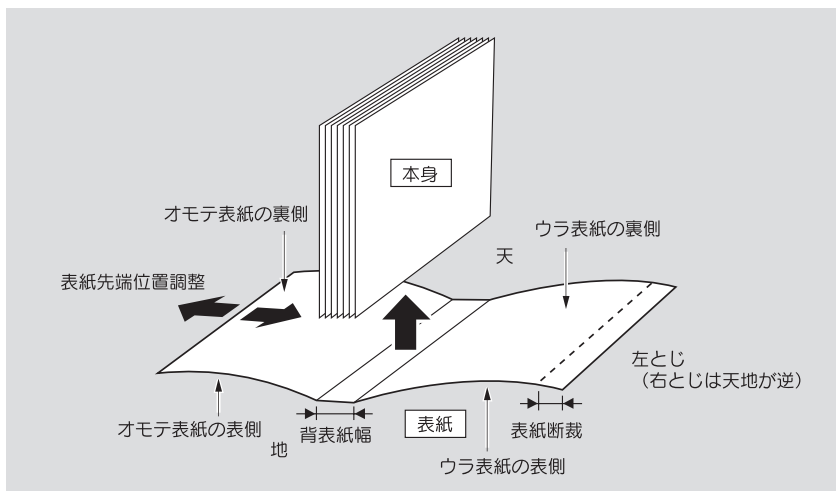
インデックス紙のコピーおよび挿入ができます。



- ▶▶ コピー機能：
p.2-14 参照
- ▶▶ プリンター機能：
p.3-11 参照

製本する

出力したものを製本することができます。



- ▶▶ コピー機能：p.2-20 参照
- ▶▶ プリンター機能：p.3-16 参照

ページごとに設定を変更してプリントする

ページごとに異なる設定をして、出力できます。

- ▶▶ プリンター機能：p.3-14 参照

スキャンデータを E-mail に添付する

スキャンしたデータを E-mail に添付して送信できます。

- ▶▶ スキャナ機能：p.4-3

スキャンデータを SMB サーバーに送る

スキャンしたデータを SMB サーバー送信できます。

- ▶▶ スキャナ機能：p.4-5

第1章: ご使用いただく前に

本機をご使用いただく前に、準備しておくことについて説明しています。

電源のオン / オフ	1-2
トレイに用紙をセットする	1-6
本体に用紙情報を登録する	1-11
プリンタードライバーのインストール	1-18



電源のオン / オフ

本機には主電源スイッチと副電源スイッチの2つの電源スイッチがあります。

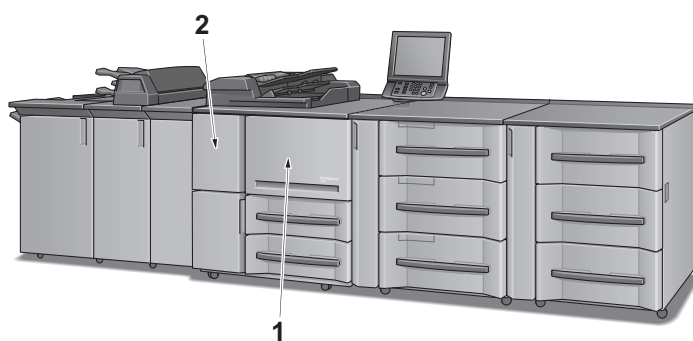
Check

- ・ 主電源スイッチは、通常オンの状態にしたまま使用します。
以下の場合以外は、オン／オフの操作はしないでください。
 - ・ ネットワーク設定変更時
 - ・ サービスコール発生時

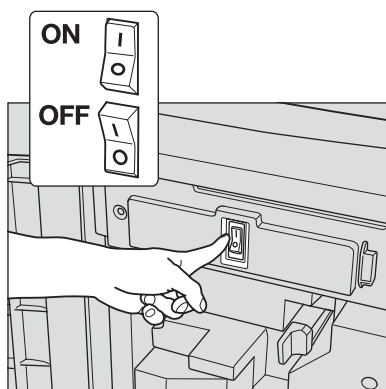


電源を入れる

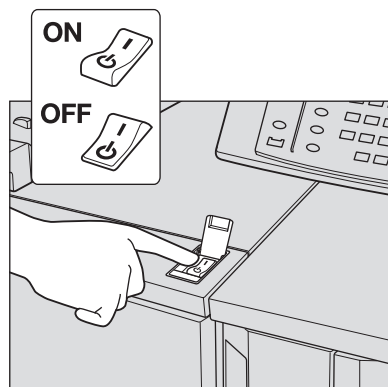
1. 本体前扉と本体左扉を開く。



2. 主電源スイッチをオンにする。



【次ページへ】

3. 副電源スイッチをオンにする。

- ウェイクアップ画面とウォームアップ画面が表示されます。
- ウォームアップには、最大 8 分かかります。

MEMO

- ウォームアップ中に原稿をスキャンし、コピー可能になったときに出力することができます。
- コピー可能になると、「プリントできます」（機械状態画面が表示されている場合）、または「コピーできます」（コピー画面が表示されている場合）と表示されます。

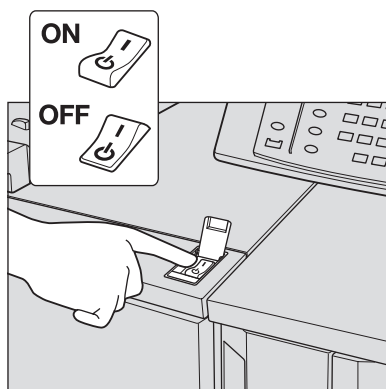


電源を切る

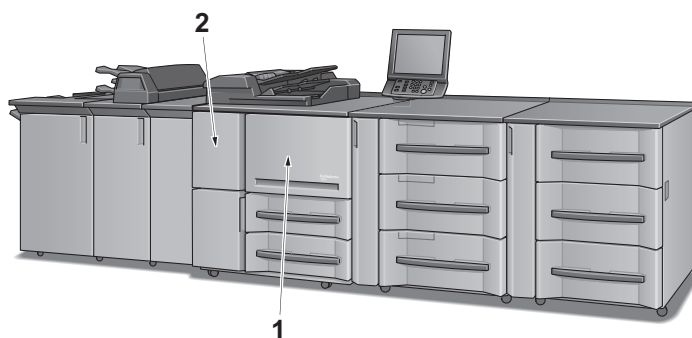
Check

- 副電源スイッチをオフにすると、ウィークリータイマーは機能しなくなります。
- 「冷却中です 冷却後に自動的に電源が切れます」と表示されている間は主電源を切らないでください。

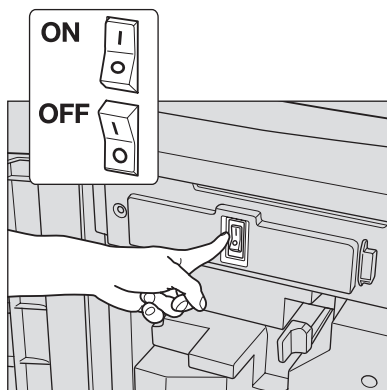
1. 副電源スイッチをオフにする。



2. 操作パネルの表示が消えたことを確認し、本体前扉と本体左扉を開く。



【次ページへ】

3. 主電源スイッチをオフにする。**MEMO**

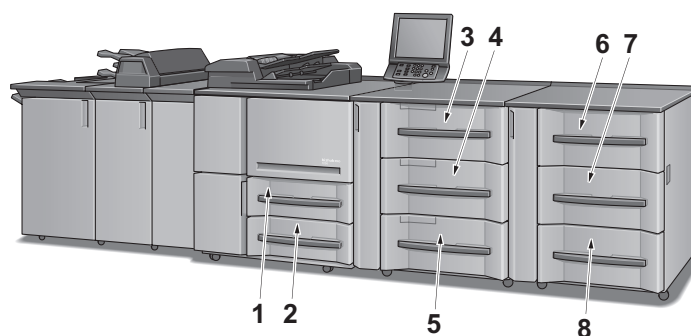
- 主電源スイッチをオフ / オンするときは、主電源スイッチをオフにして必ず 10 秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。



トレイに用紙をセットする

用紙について

用紙をセットする装置には下記のものがあります。



- トレイ 1～2 (本体トレイ)
- トレイ 3～8 (大容量給紙トレイ PF-702/ サクション式大容量給紙トレイ PF-703)

坪量と用紙種類について

用紙をセットする装置：

用紙種類	本体トレイ	大容量給紙トレイ (PF-702)		サクション式 大容量給紙トレイ (PF-703)	
	トレイ 1/ トレイ 2	上段 / 下段	中段	上段 / 下段	中段
	坪量 40g/m ² ~ 244g/m ²	坪量 40g/m ² ~ 244g/m ²	坪量 40g/m ² ~ 350g/m	坪量 40g/m ² ~ 244g/m ²	坪量 40g/m ² ~ 350g/m
塗工紙	○*	○*		○	
追い刷り紙	×	○*		○	
上質紙	○	○		○	
普通紙	○	○		○	
書籍用紙	△ 217g/m ² 以上不可	△ 217g/m ² 以上不可		△ 217g/m ² 以上不可	
ラフ紙	△ 217g/m ² 以上不可	△ 217g/m ² 以上不可		△ 217g/m ² 以上不可	
未印字挿入紙	○	○		○	

* 紙種によって、通紙できないものもあります。詳しくはサービス実施店にご確認ください。

MEMO

- 用紙を搬送/処理/排出する装置については、「第6章:付録」をご覧ください。



用紙サイズと枚数について

用紙をセットする装置：

装置	枚数	用紙サイズ
本体トレイ	1,500 枚 (80g/m ²)	最小 182mm × 139mm ～ 最大 324mm × 463mm
大容量給紙トレイ PF-702	2,000 枚 (80g/m ²)	最小 95mm × 139mm ～ 最大 324mm × 463mm
サクシヨン式 大容量給紙トレイ PF-703	上段 1,300 枚 (80g/m ²) 中段 / 下段 1,850 枚 (80g/m ²)	最小 95mm × 133mm ～ 最大 324mm × 463mm

MEMO

- 用紙を搬送/処理/排出する装置については、「第6章:付録」をご覧ください。



用紙をセットする（トレイ 1、2 の場合）

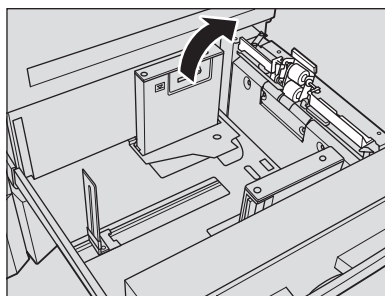
Check

- 本体の電源が入っていないとトレイを引き出すことができません。電源をオンにしてください。
- 機械転倒防止のため、複数のトレイを引き出すことはできません。

1. 用紙を補給するトレイを引き出す。

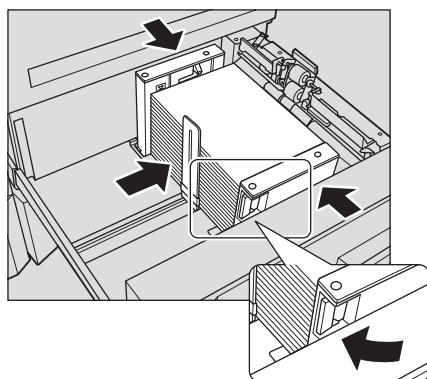


2. 給紙ローラーを開く。



3. 用紙をセットし、側面ガイド板と後端ガイド板を用紙に沿わせる。

- 印刷面を下にしてトレイの給紙ローラー側に用紙を揃えるようにセットします。手前の側面ガイドのロック解除レバーを押しながら用紙に突き当て、後端ガイドを用紙に突き当てます。



4. トレイを奥まで確実に押し込む。

- タッチパネル画面の残量表示が、 から  に変わります。

用紙をセットする（PF-702 の場合）

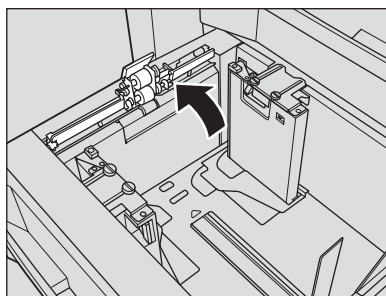
Check

- 本体の電源が入っていないとトレイを引き出すことができません。電源をオンにしてください。
- 機械転倒防止のため、複数のトレイを引き出すことはできません。

1. 用紙を補給するトレイを引き出す。

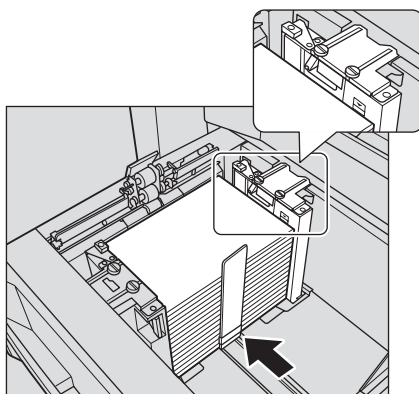


2. 給紙ローラーを開く。



3. 用紙をセットし、後端ガイド板を用紙に沿わせる。

- 印刷面を上にして、トレイの給紙ローラー側に用紙を揃えるようにセットします。後端ガイドのロック解除レバーを押しながら用紙に突き当てます。



4. トレイを奥まで確実に押し込む。

- タッチパネル画面の残量表示が、 から  に変わります。



用紙をセットする（PF-703 の場合）

Check

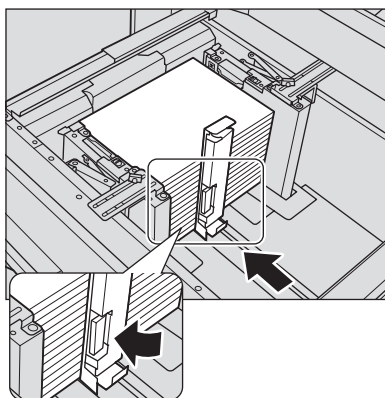
- 本体の電源が入っていないとトレイを引き出すことができません。電源をオンにしてください。
- 機械転倒防止のため、複数のトレイを引き出すことはできません。

1. 用紙を補給するトレイを引き出す。



2. 用紙をセットし、後端ガイド板を用紙に沿わせる。

- 印刷面を上にして、トレイの左側に用紙を揃えるようにしてセットします。後端ガイドのロック解除レバーを押しながら用紙に突き当てます。



3. トレイを奥まで確実に押し込む。

- タッチパネル画面の残量表示が、 から  にかわります。

MEMO

- コピー / プリントを行っている場合でも、現在給紙として使用していない他のトレイに用紙補給を行うことができます。
- トレイ引抜きによる読み込み停止がONに設定されている場合、原稿のスキャン中に他のトレイを開けると、操作パネルに「トレイをセットしてください」というメッセージが表示され、出力が停止されます。この場合は、トレイを閉め、操作パネルに「スタートボタンで再プリントできます」と表示された後、スタートボタンを押して、コピーまたはスキャンを再開します。
- 側面ガイドのガイド固定ツマミの調整方法については、「ユーザズガイド（コピー編）」をご覧ください。

本体に用紙情報を登録する

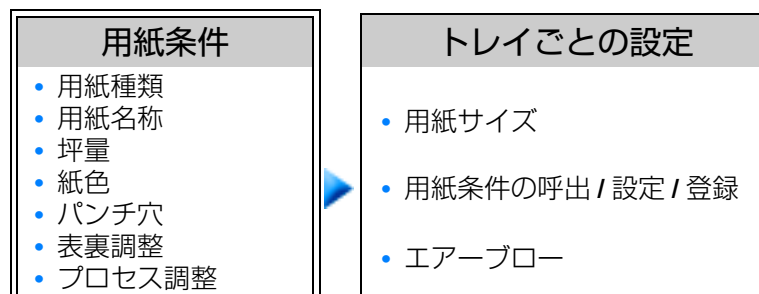
本体に用紙情報を登録することができます。

登録の前に

用紙情報の登録では、「用紙条件登録」機能と「トレイごとの設定」機能があります。

「用紙条件登録」機能で、いつも使う用紙条件を簡単に指定することができます。「トレイごとの設定」機能で、用紙サイズ設定、登録済み用紙条件の適用およびエアブロー設定をトレイごとに行うことができます。

また、「トレイごとの設定」機能で、一時的に使用する用紙条件を設定することもできます。この場合、設定内容を用紙条件として登録することもできます。よく使う設定は、あらかじめ本体に設定をしておく、便利です。



Check

- 用紙情報は、最大で 256 個登録できます。

用紙条件を登録する

使用する用紙種類に応じて用紙条件を設定し登録することができます。

Check

- 用紙サイズは「トレイごとの設定」で登録するため、用紙条件として登録できません。

1. 機械状態画面の【用紙条件登録 / 削除】を押す。



2. 登録するボタンを押して選択する。



3. 【追加 / 編集】を押す。

【次ページへ】

- 4. 必要に応じて、[用紙種類]、[用紙名称]、[坪量]、[色紙]、[パンチ穴]、[表裏調整]、[プロセス調整] を設定する。**



- 5. 追加 / 編集画面の [OK] を押す。**

MEMO

- チャートを出力して表裏調整を行う方法については、「表裏の位置を調整する (p.5-11)」をご覧ください。
- プロセス調整では、転写電流オフセット調整および定着圧接力行うことができます。設定値については、サービス実施店にお問い合わせください。

トレイにサイズ、用紙条件を設定する

トレイごとに用紙サイズ設定、登録済み用紙条件の適用およびエアブロー設定を行います。

Check

- ・用紙サイズは「トレイごとの設定」で登録するため、用紙条件として登録できません。
- ・本体トレイ、大容量給紙トレイ PF-702 の場合、エアブロー機能は、通常【自動】に設定されています。紙種、坪量によって、【ON】または【OFF】に設定する必要があります。
- ・サクシオン式大容量給紙トレイ PF-703/PI-PFU の場合、エアブロー機能は、通常【自動】に設定されています。紙種、坪量によって【手動】に設定する必要があります。

1. 機械状態画面の【トレイ設定】を押す。



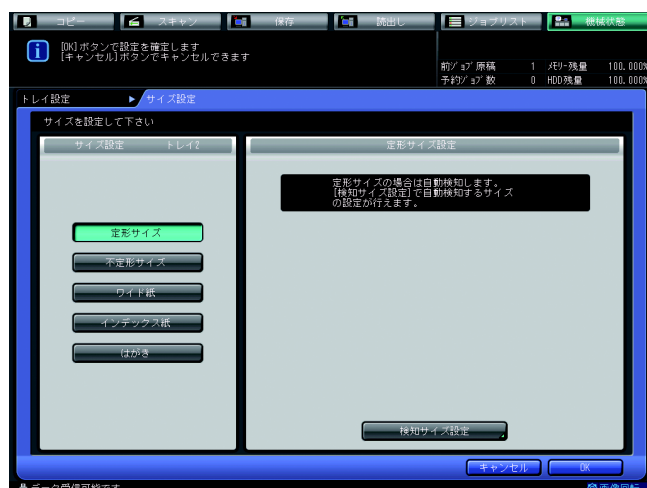
【次ページへ】

2. 設定するトレイボタンを押す。



3. 用紙サイズの「設定変更」を押す。

4. 用紙サイズを選択し、[OK] を押す。



- すでに登録した出力条件を設定する場合：手順 5 へ

【次ページへ】

- 一時的に出力条件を変更する場合：手順 6 へ

【次ページへ】

5. 【設定呼出】を押す。

6. 【設定呼出】右の【設定変更】を押す。



● 手順7へ

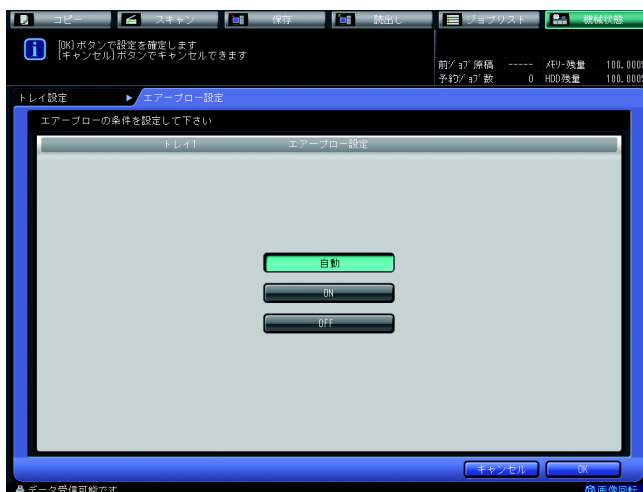
● 手順8へ

7. 用紙条件を選択し、【OK】を押す。

8. 用紙条件を変更し、【OK】を押す。

9. 必要に応じて、エアブローの【設定変更】を押す。

10. エアブロー設定を選択する。



11. トレイ設定画面の【閉じる】を押す。

MEMO

- 一時的に出力条件を変更する場合は、用紙名称を変更することができません。また、一時的に変更した出力条件を【設定登録】を押して登録することができます。

- エアーブローは、給紙時にエアーを吹き付けることにより給紙を補助する機能です。給送性が不安定な場合に設定すると、便利です。



プリンタードライバーのインストール

付属の「Driver CD-ROM」からプリンタードライバーをお使いのコンピューターにインストールすると、本機をプリンターとして使用することができます。

本製品では、以下のプリンタードライバーが用意されています。必要に応じて、インストールを行ってください。

- PS Plug-in ドライバー（Windows 用プリンタードライバー）
- PCL ドライバー（Windows 用プリンタードライバー）
- PS PPD ドライバー（Windows/Mac OS X 用プリンタードライバー）

対応 OS

本製品のプリンタードライバーは、以下のオペレーティングシステムに対応しています。

- Windows 2000/XP/Vista
- Windows Server 2003/Server 2008
- Mac OS X v10.2 ～ v10.5
- Mac OS 9.2



プリンタードライバーのインストール

本書ではインストーラーを使って、PS Plug-in ドライバーおよび PCL ドライバーのインストールする手順について説明します。

その他のドライバーのインストール手順および PCL ドライバーの詳細については、「ユーザズガイド（プリンター編）」をご覧ください。

PS Plug-in ドライバーの詳細については、「ユーザズガイド（プリンター (PostScript3_Plug-in ドライバー) 編)」をご覧ください。

Check

- 本体のネットワーク設定を行って、ネットワークに接続しておく必要があります。ネットワークの設定については、p.6-2 をご覧ください。
- インストールの前に「Driver CD」を事前に準備してください。
- プリンタードライバーのインストールには、必要な権限をもったシステム管理者またはプリンター管理者が行うことを推奨します。

PS Plug-in ドライバーのインストール

1. 「Driver CD-ROM」をコンピューターに挿入する。



2. 「プリンターのインストール」を選択する。



3. 「PS Plug-in Driver」を選択して「JA」を選択する。



4. 「次へ」をクリックする。



5. 以降の操作は、ウィザードにしたがってインストールを行う。



6. インストール完了後、装置情報の更新を行う。

▶▶ p.1-21 参照



PCL ドライバーのインストール

1. 「Driver CD-ROM」をコンピューターに挿入する。



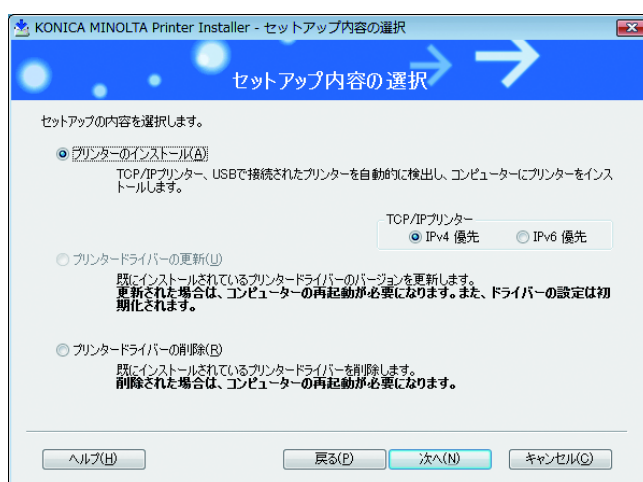
2. 「プリンターのインストール」を選択して、「PCL」を選択する。



3. 使用許諾契約書を確認し、「同意します」をクリックする。



4. 「プリンターのインストール」を選択し「次へ」をクリックする。



5. 以降の操作は、ウィザードにしたがってインストールを行う。



6. インストール完了後、装置情報の更新を行う。

▶▶ p.1-21 参照

装置情報の更新

プリンタードライバーをインストールしたら、ドライバー上で本体のオプションの情報を更新することを推奨します。

Check

- ドライバー上で、装置情報を更新しておかないと、対応する機能がドライバー上で使用できません。
- ここでは、Windows Vista での説明をします。他の OS をお使いの場合は、OS の解説書をご覧ください。

PS Plug-in ドライバーの場合

1. [スタート] - [コントロールパネル] を選択する。



2. [ハードウェアとサウンド] を選択する。



3. [プリンタ] をクリックする。



4. 設定したいプリンターアイコンを右クリックして [プロパティ] を選択する。



5. [全般] タブが表示されているのを確認して [印刷設定] をクリックする。



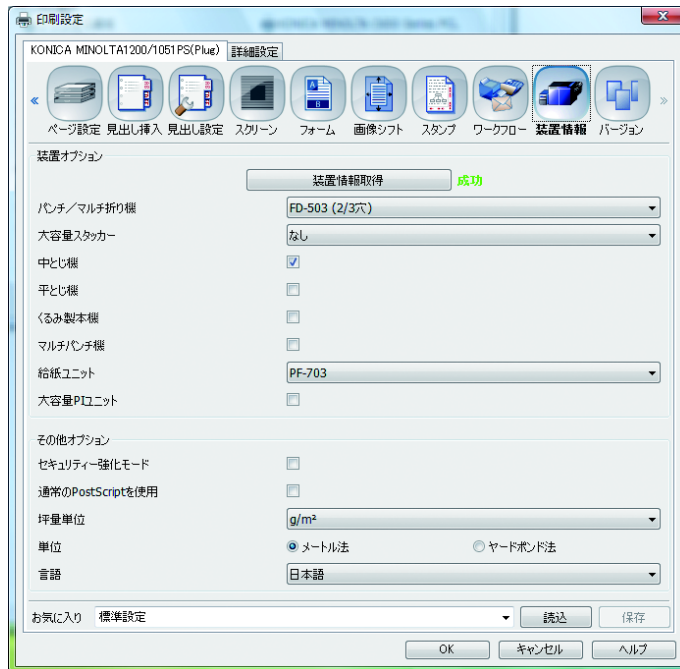
6. 画面右上の  をクリックして [装置情報] をクリックする。



【次ページへ】



7. 「装置情報取得」をクリックする。



- 本体から装置情報を取得します。本体から装置情報が取得できない場合は、ネットワークの設定を確認してください。

▶▶▶ p.6-2 参照

8. 「OK」をクリックして印刷設定画面を閉じる。

9. 「OK」をクリックしてプロパティ画面を閉じる。

PCL ドライバーの場合

1. [スタート] - [コントロールパネル] を選択する。



2. [ハードウェアとサウンド] を選択する。



3. [プリンタ] をクリックする。



4. 設定したいプリンターアイコンを右クリックして [プロパティ] を選択する。



5. [装置情報] タブをクリックする。



6. [装置情報取得] をクリックする。



- 本体から装置情報を取得します。本体から装置情報が取得できない場合は、ネットワークの設定を確認してください。

▶▶ p.6-2 参照



7. [設定値の変更] からオプションを設定する。



8. [OK] をクリックしてプロパティ画面を閉じる。

第2章：コピーする

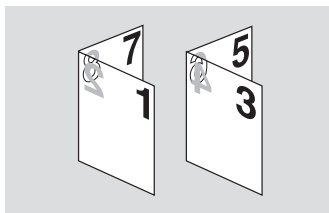
よく使うコピー機能についての説明をしています。

小冊子としてコピーする	2-2
折り機能を使う	2-7
インデックス紙を使う	2-14
製本する	2-20



小冊子としてコピーする

複数枚の原稿を、二つ折りにして週刊紙とじまたは無線とじの読み取り順になるように両面コピーします。



Check

- ・ 小冊子機能は面付けの機能です。とじ / 断裁を行う場合は、オプションを利用する他の機能と組み合わせて設定を行います。機能の組み合わせ例については、p.2-5 をご覧ください。
- ・ 小冊子機能では自動倍率機能が自動的に設定されます。

9 ページの文書を小冊子にする場合

1. 任意のトレイに用紙をセットする。

▶▶ p.1-8 参照

2. コピー画面で【応用設定】を押す。

3. 【小冊子】を選択する。



【次ページへ】

4. 任意のモードを選択して【OK】を押す。



5. 小冊子と併用したい応用設定の設定をする。

▶▶ p.2-5 参照

6. 【OK】を押して、応用設定画面を閉じる。

7. 小冊子と併用したい出力設定機能の設定をする。

▶▶ p.2-5 参照

8. 手順1で用紙をセットしたトレイを選択する。

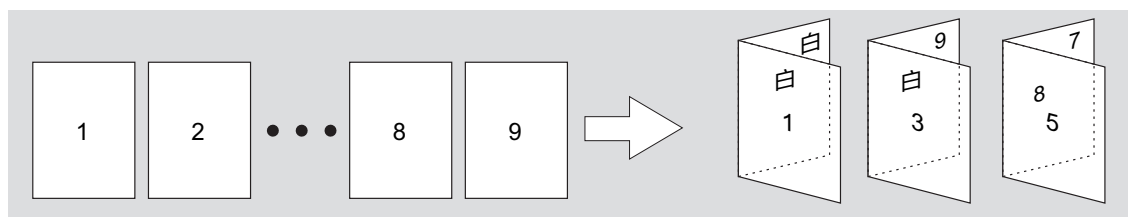
9. 原稿に応じて【両面 -> 両面】または【片面 -> 両面】を選択する。



10. 原稿をセットして【スタート】を押す。

MEMO

- 出力するドキュメントのページ数が4の倍数以外の場合は、4の倍数に不足しているページ数分の白ページが自動的に末尾に挿入されます。

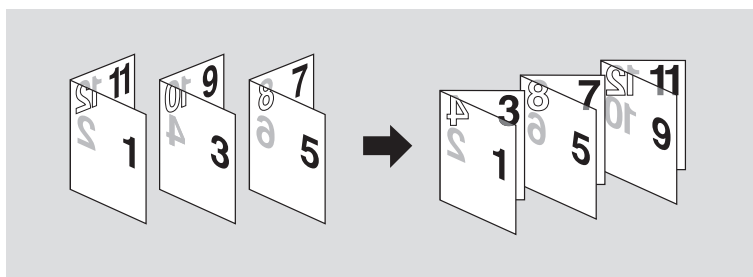


こんなことができます

小冊子機能を、以下の機能をあわせて設定すると便利です。

小冊子 + 無線とじ

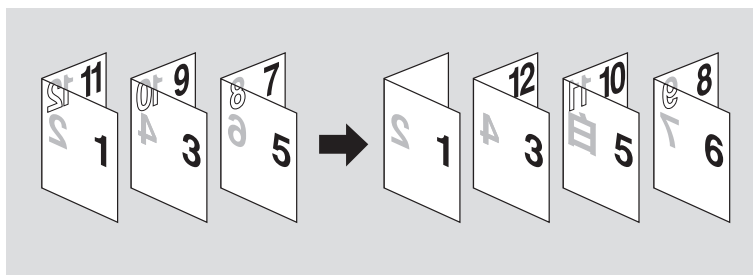
オプションの折り機 FD-503 を装着している場合、1枚の出力紙に4ページを出力して中折りする無線とじ機能と併用できます。この場合は、中折りした出力紙を重ね、後からのり付けして小冊子を作ることができます。



- ▶▶ 無線とじ：コピー編を参照。
- ▶▶ オプション：p.6-10 参照。

小冊子 + 章分け

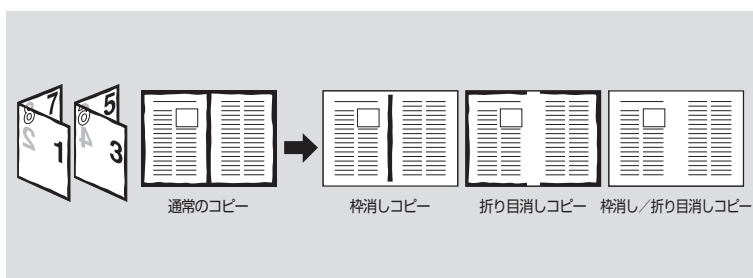
指定したページを必ず用紙のオモテ面になるように出力する章分け機能と併用できます。この場合は、必要に応じた空白ページが挿入されます。(例：6ページ目に章分けを設定した場合は、5ページの次に空白ページが挿入され、6ページがオモテ面になります。)



- ▶▶ 章分け：コピー編を参照。

小冊子 + 枠 / 折り目消し

用紙の周囲や中央に映る黒い影を消してコピーできる枠 / 折り目消し機能と併用できます。



- ▶▶ 枠 / 折り目消し：コピー編を参照。

小冊子 + スタンプ / オーバーレイ

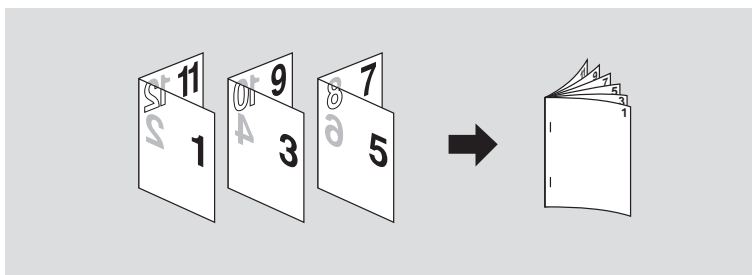
印刷文書の背景に文字や画像を入れるスタンプ / オーバーレイ機能と併用できます。



▶▶ スタンプ / オーバーレイ：コピー編を参照。

小冊子 + 中とじ (+ 断裁) / 重ね中折り (+ 断裁)

オプションの中とじ機 (SD-506) を装着している場合、中とじ、または重ね中折り機能と併用できます。またこれらの機能は、断裁機能も併用できます。



▶▶ 中とじ (+ 断裁)：コピー編を参照。

▶▶ 重ね中折り (+ 断裁)：p.2-10 参照。

▶▶ オプション：p.6-10 参照。

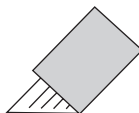
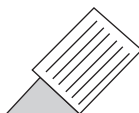
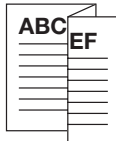
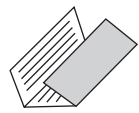
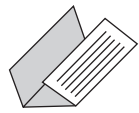
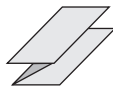
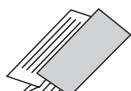
MEMO

- 無線とじとくるみ製本の併用はできません。

折り機能を使う

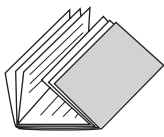
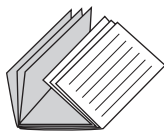
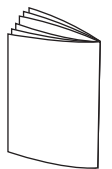
オプションの折り機 FD-503 またはオプションの中とじ機（SD-506）を使用して、以下の種類の折りが設定できます。

折りの種類：

折り		必要なオプション	
 中折り（内印刷）	 中折り（外印刷）		折り機 FD-503
 Z 折り			
 内 3 つ折り（内印刷）	 内 3 つ折り（外印刷）		
 外 3 つ折り（内印刷）	 外 3 つ折り（外印刷）		
 ダブルパラレル折り （内印刷）	 ダブルパラレル折り （外印刷）		
 観音折り（内印刷）	 観音折り（外印刷）		



折りの種類：

折り		必要なオプション	
 重ね3つ折り (内印刷)	 重ね3つ折り (外印刷)	 重ね中折り (断裁あり)	 重ね中折り (断裁なし)
			中とじ機 (SD-506)

MEMO

- オプションの用紙坪量については、「第6章：付録」をご覧ください。



Z折りを設定する：

1. コピー画面で【出力設定】を押す。



2. 【折り】を押す。



【次ページへ】

3. [Z 折り] を選択して [OK] を押す**4. Z 折りと併用したい出力設定機能の設定をする。**

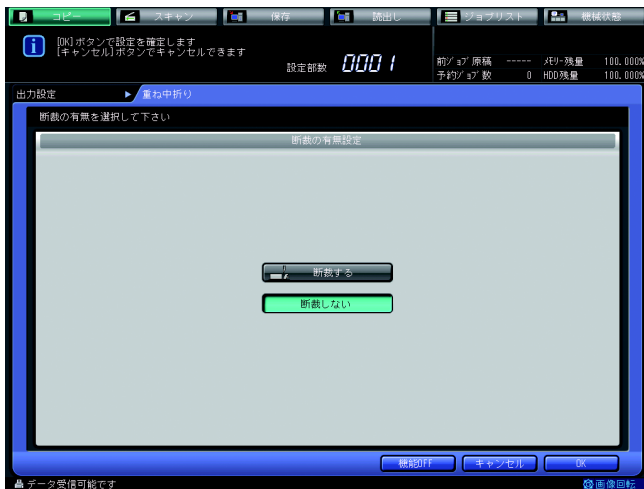
▶▶ p.2-13 参照

5. [OK] を押して、出力設定画面を閉じる。**6. Z 折りと併用したい応用機能の設定をする。**

▶▶ p.2-13 参照

7. 原稿をセットして [スタート] を押す。

- 3. [断裁する] または [断裁しない] を選択して [OK] を押す。**



- ▶▶▶ p.2-13 参照

▼

7. 折り / とじトレイを引き出す。



8. 原稿をセットして【スタート】を押す。



重ね3つ折りを設定する：

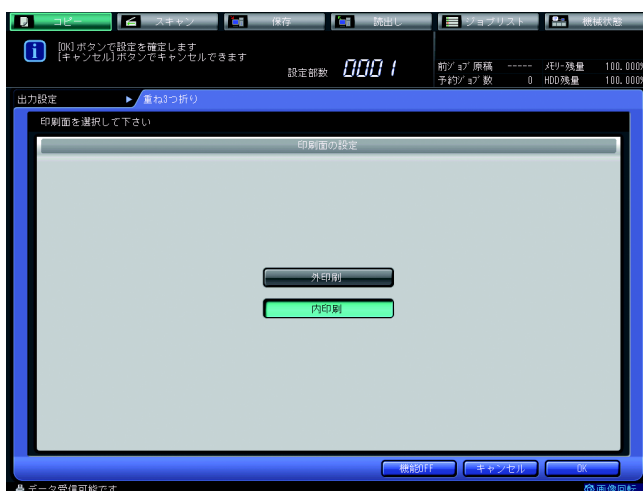
1. コピー画面で【出力設定】を押す。



2. 【重ね3つ折り】を押す。



3. 【外印刷】または【内印刷】選択して【OK】を押す。



4. 重ね3つ折りと併用したい出力設定機能の設定をする。

▶▶ p.2-13 参照



5. 【OK】を押して、出力設定画面を閉じる。



6. 重ね3つ折りと併用したい応用機能の設定をする。

▶▶ p.2-13 参照



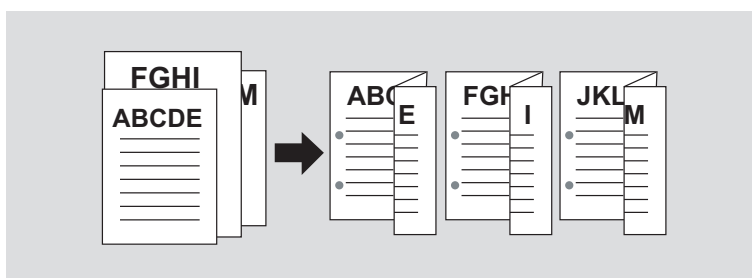
7. 原稿をセットして【スタート】を押す。

こんなことができます

折り機能を、以下の機能をあわせて設定すると便利です。

Z 折り＋混載原稿＋ステープル／パンチ穴

ADF にサイズの違う原稿をセットし、自動的に選択された紙サイズでコピーする混載原稿機能と併用できます。また、コピーにパンチ穴をあけるパンチ機能と併用できます。オプションのステープルフィニッシャー FS-521 を装着している場合、コピーをステープル止めするステープル機能と併用できます。

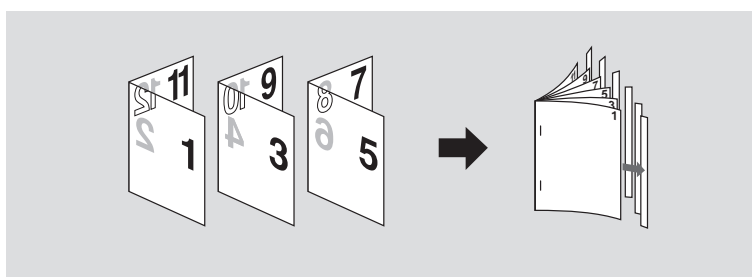


混載原稿、ステープル、パンチ穴：コピー編を参照。

オプション：p.6-10 参照。

重ね中折り（＋断裁）＋小冊子

週刊紙とじまたは無線とじの読み取り順になるように両面コピーをする小冊子機能と併用できます。



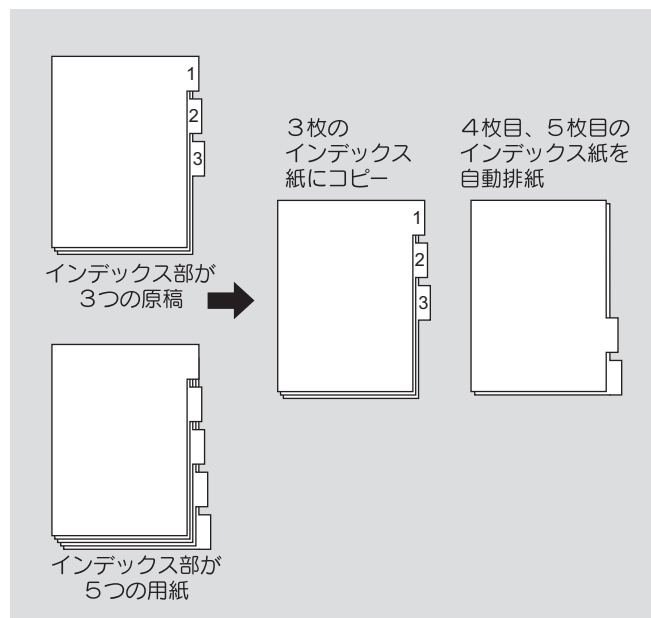
小冊子：p.2-2 参照。



インデックス紙を使う

原稿設定でインデックス紙を選択すると、給紙トレイにセットしたインデックス紙に、インデックス部分も含めたインデックス紙全体をコピーできます。

また、給紙トレイにセットしたインデックス紙を、指定したページ位置に挿入して出力できます。



インデックス紙にコピーする場合

1. インデックス紙をトレイにセットする。

▶▶ p.1-8 参照



2. コピー画面で【原稿設定】を押す。



【次ページへ】

3. 「インデックス紙サイズ」を押す。



4. 任意のサイズキーを選択して「OK」を押す。



5. インデックス紙のコピーと併用したい出力設定機能の設定をする。▶▶ p.2-19 参照

6. 「OK」を押して、出力設定画面を閉じる。

7. インデックス紙のコピーと併用したい応用機能の設定をする。▶▶ p.2-19 参照

8. 原稿をセットして「スタート」を押す。



10 ページごとにインデックス紙を挿入する場合

Check

- ・ インデックス紙を挿入する場合、インデックス部分には、コピーできません。
- ・ インデックス紙は、片面印刷のみとなります。

1. インデックス紙をトレイにセットする。

▶▶ p.1-8 参照



2. コピー画面で【応用設定】を押す。



3. 【インターシート】を選択する。



4. 挿入紙の【設定変更】を押す。



【次ページへ】

5. インデックス紙をセットしたトレイを選択する。**6. 必要に応じて、[印刷] または [白紙] を選択する。**

- [印刷] を選択した場合、[両面] は選択できません。

7. [挿入ページ設定] を押す。**8. 挿入ページとして「1,10,20,30」入力し、[確定] を押す。****9. [OK] を押して、挿入紙設定画面を閉じる。****10. [OK] を押して、インターシート画面を閉じる。**

【次ページへ】



11.インデックス紙の挿入と併用したい出力設定機能の設定をする。

▶▶ p.2-19 参照



12.[OK] を押して、出力設定画面を閉じる。



13.インデックス紙の挿入と併用したい応用機能の設定をする。

▶▶ p.2-19 参照



14.原稿をセットして【スタート】を押す。

MEMO

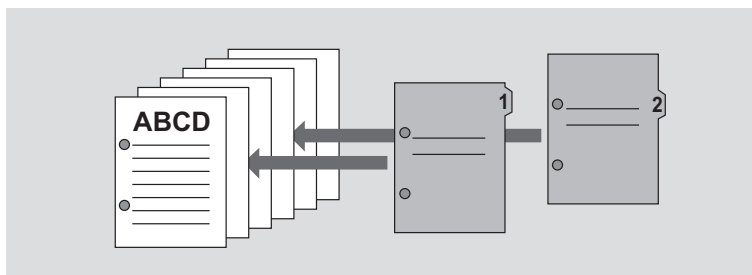
- コピーしたインデックス紙をセットすることもできます。
- 複数の挿入ページを設定する場合は、ページ番号をカンマで区切って入力します。

こんなことができます

インデックス紙を、以下の機能と併用して使うと便利です。

インデックス紙+インターシート+パンチ穴

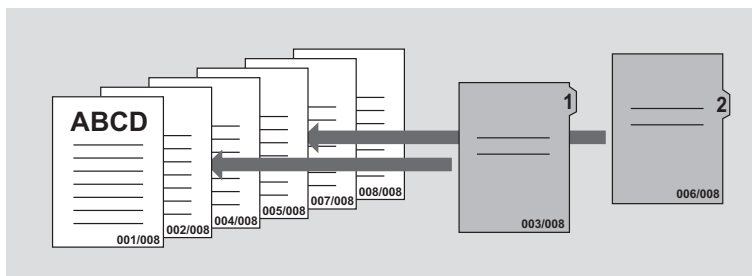
オプションの折り機 FD-503 を装着している場合、挿入するインデックス紙とコピー用紙にパンチ穴をあけることができます。



- 挿入したインデックス紙にもコピー内容を印字する場合、タブの部分には印字できません。この場合は、あらかじめタブの部分が印字済みのインデックス紙をセットする必要があります。

インデックス紙+ナンバリング

挿入するインデックス紙とコピー用紙の各ページのフッタ部などに、ナンバリングをつけることができます。ナンバリングの挿入位置は、ユーティリティーモードで設定できます。



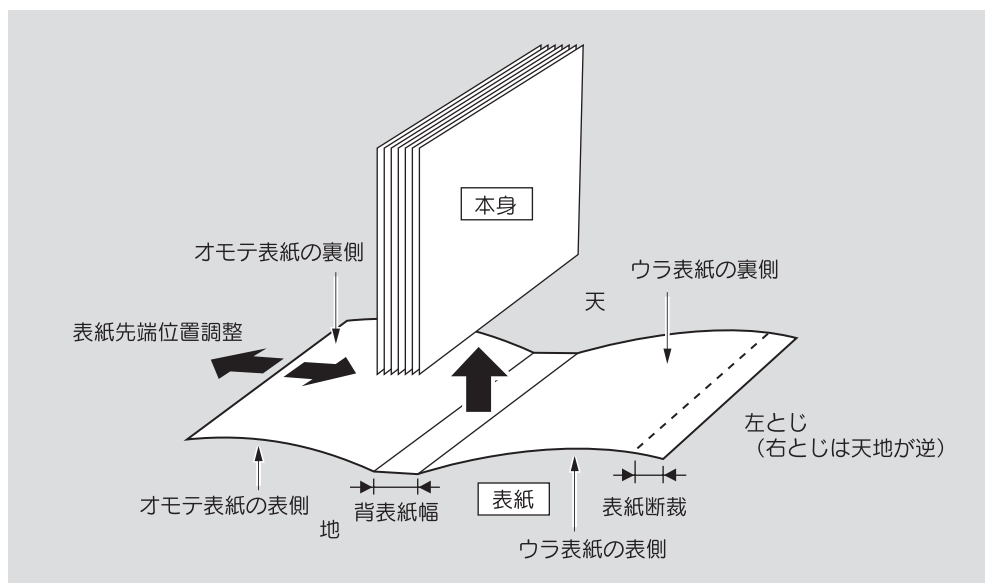
▶▶▶ パンチ穴：コピー編を参照。

▶▶▶ オプション：p.6-10 参照。

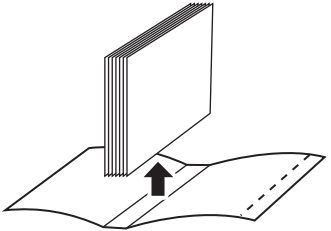
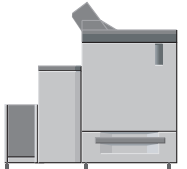
▶▶▶ スタンプ：コピー編を参照。

製本する

オプションのくるみ製本機（PB-502）を装着している場合、自動的にコピーした用紙を束ね、背に糊を付け表紙をくるんで製本できます。



製本：

製本		必要なオプション	
	くるみ製本		くるみ製本機（PB-502）

Check

- ・ 試しに1部コピーをし、設定する背表紙幅を確認することをお勧めします。

くるみ製本を設定する

- 1. 用紙（本身 / 表紙）をトレイにセットする。** p.1-8 参照



- 2. コピー画面で本身の用紙をセットしたトレイを押し、必要に応じて用紙設定を変更する。** ▶▶ p.1-8 参照



- 3. [出力設定] - [くるみ製本] を押す。**



- 4. [表紙トレイ] の [設定変更] を押し、表紙の用紙をセットしたトレイを設定する。**



- 5. 必要に応じて、[用紙設定変更] を押し、表紙の用紙の設定を行う。**



【次ページへ】



6. 必要に応じて、[表紙印刷]、[表紙印刷面]、[表紙断裁]、[とじ方向]、[背表紙幅]、[微調整] を設定する。 ▶▶ p.2-23 参照



7. [OK] を押して、出力設定画面に戻る。



8. くるみ製本と併用したい出力設定機能の設定をする。 ▶▶ p.2-25 参照



9. [OK] を押して、出力設定画面を閉じる。



10. くるみ製本と併用したい応用機能の設定をする。 ▶▶ p.2-25 参照



11. 原稿をセットして [スタート] を押す。

くるみ製本のモードについて

表紙白紙モード

表紙には何も印字せず、くるみのみ行う場合使用します。

〔表紙トレイ〕にセットされている原稿を表紙として扱います。

例) 〔表紙白紙モード〕でくるみ製本を行う場合



表紙画像合成済み

表紙に使用する紙と同じサイズに表紙、裏表紙、背表紙が面付けされた原稿が既に準備されている場合、使用します。

表紙を両面印刷する場合は、表紙の裏面もあらかじめ作成しておく必要があります。

例) 表紙画像合成済みでくるみ製本を行う場合



MEMO

- 表紙画像合成済みでは、〔PI トレイ〕、〔PB 表紙トレイ〕を使用することが出来ません。

表紙画像 2in1

表紙は、原稿の1ページ目と最終ページ(nページ)を2in1として作成し、2ページ目から最終ページの1ページ前(n-1ページ)までを本身として印字し、背表紙は印字せず、くるみ製本を行います。

なお、背表紙幅は本体で設定した幅に反映されます。

例) 表紙画像 2in1 でくるみ製本を行う場合



**MEMO**

- 表紙画像 2in1 では、[PI トレイ]、[PB 表紙トレイ] を使用することが出来ません。

表紙断裁

くるみ製本表紙を断裁する場合、[ON] にします。

背表紙幅

背表紙の幅を設定します。

表紙両面

くるみ製本表紙を両面にしたい場合、[ON] にします。

給紙トレイ

給紙トレイを指定します。

用紙種類

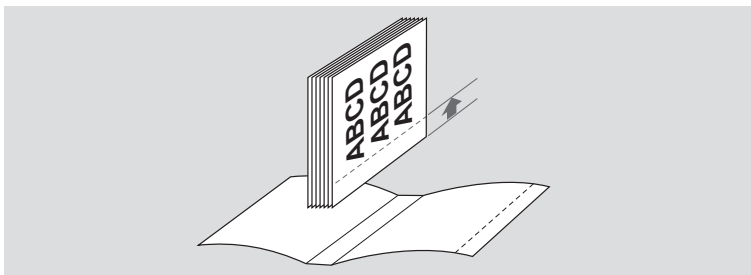
既定値に従うか、用紙名称情報で登録された名称を使用するか選択します。

こんなことができます

くるみ製本機能では、以下の機能と併用して使うと便利です。

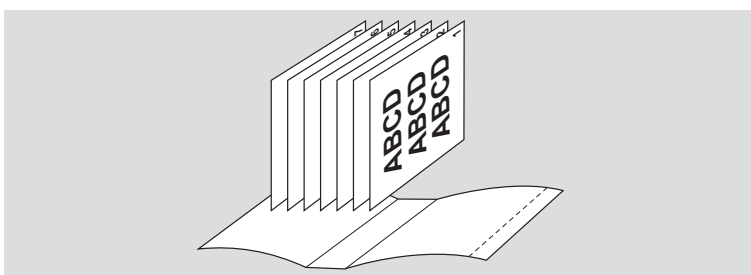
くるみ製本+とじしろ設定

画像を縮小しながら動かして、コピーにとじしろをつくる
とじしろ設定機能と併用できます。自身の背表紙側に余白
を設定したい場合に便利です。



くるみ製本+ページ番号

各ページのページ番号をつけるスタンプ機能と併用できま
す。ページ番号の挿入位置は、ユーティリティーモードで
設定できます。



▶▶ とじしろ：コ
ピー編を参
照。

▶▶ スタンプ：コ
ピー編を参
照。

第3章：プリントする

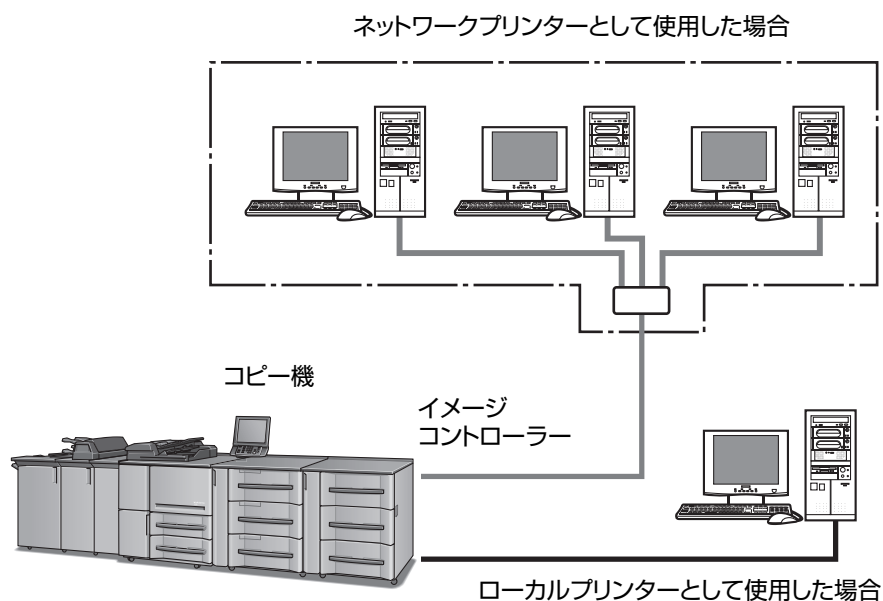
PS Plug-in ドライバーを使って、本機をプリンターとして使用する操作方法について説明しています。

プリンタードライバーについて	3-2
プリンタードライバーの印刷設定画面	3-3
小冊子としてプリントする	3-4
折り機能を使う	3-7
インデックス紙を挿入する	3-11
ページごとに設定を変更してプリントする	3-14
製本する	3-16



プリンタードライバーについて

ここでは、PS Plug-in ドライバーを使って本機をプリンターとして使用する場合に、よく使う機能についてを説明しています。



Check

- 本機をプリンターとして使用するには、ネットワーク設定を行う必要があります。主な設定については、「第6章：付録」をご覧ください。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

MEMO

- プリンタードライバーのインストールについては、p.1-18 をご覧ください。
- ドライバーについての詳細は、「ユーザーズガイド（プリンター（PostScript3_Plug-in ドライバー）編）」をご覧ください。

プリンタードライバーの印刷設定画面

プリンタードライバーの印刷設定画面は、アプリケーションの印刷コマンドで表示します。

Check

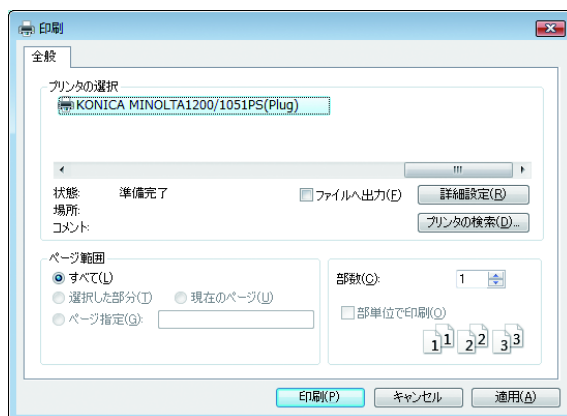
- 印刷コマンドは、アプリケーションによって異なります。ここでは、Windows Vista のメモ帳を使った場合の手順について説明します。

印刷設定画面を表示する

1. アプリケーションの【ファイル】メニューから【印刷】を選択。



2. プリンターを選択して【詳細設定】をクリック。

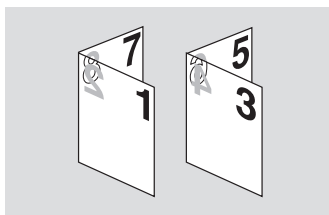


- アプリケーションによって画面が異なります。



小冊子としてプリントする

複数枚の原稿を、二つ折りにして週刊紙とじまたは無線とじの読み取り順になるように両面印刷します。



Check

- ・ 小冊子機能は面付けの機能です。とじ / 断裁を行う場合は、オプションを利用する他の機能と組み合わせて設定を行います。機能の組み合わせ例については、p.3-6 をご覧ください。
- ・ 小冊子機能では自動倍率機能が自動的に設定されます。

9 ページの小冊子にする場合

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバの印刷設定画面を表示する。 ▶▶ p.3-3 参照



2. 【レイアウト】を選択する。



3. 【面付け】メニューから【小冊子】を選択する。



【次ページへ】

4. 必要に応じて、その他の設定を行う。



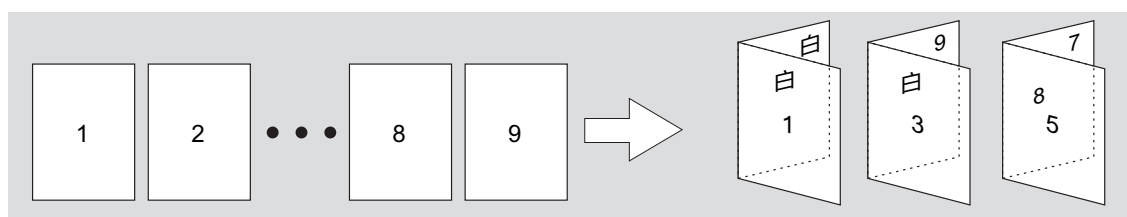
5. [OK] をクリックする。



6. [印刷] をクリックする。

MEMO

- 出力するドキュメントのページ数が4の倍数以外の場合は、4の倍数に不足しているページ数分の白ページが自動的に末尾に挿入されます。



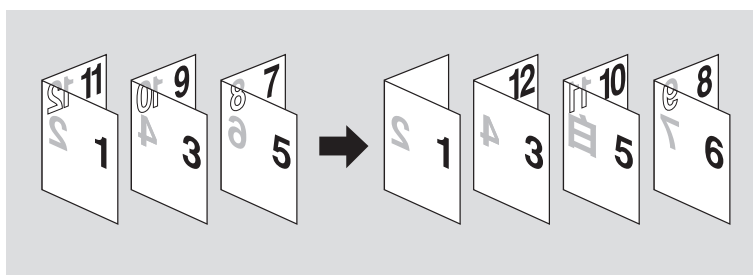


こんなことができます

小冊子機能を、以下の機能をあわせて設定すると便利です。

小冊子 + 章分け

指定したページを必ず用紙のオモテ面になるように出力する章分け機能と併用できます。この場合は、必要に応じた空白ページが挿入されます。(例：6 ページ目に章分けを設定した場合は、5 ページの次に空白ページが挿入され、6 ページがオモテ面になります。)



▶▶ 章分け：
プリンター
(PostScript3
_Plug-in ドラ
イバー) 編を
参照。

小冊子 + スタンプ

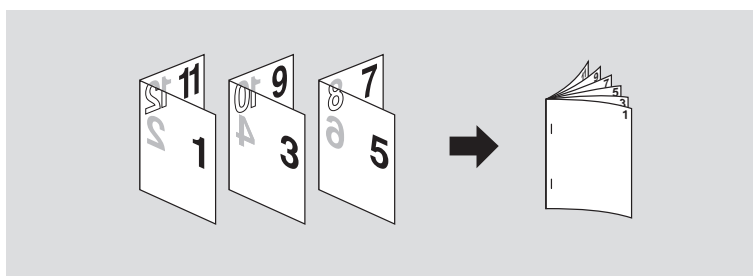
印刷文書に日付 / 時刻やページ番号を入れるスタンプ機能と併用できます。



▶▶ スタンプ：
プリンター
(PostScript3
_Plug-in ドラ
イバー) 編を
参照。

小冊子 + 中とじ / 重ね中折り (+ 断裁)

オプションの中とじ機 (SD-506) を装着している場合、中とじ、または重ね中折り機能と併用できます。またこれらの機能は、断裁機能も併用できます。



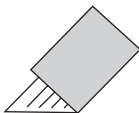
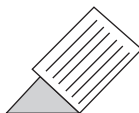
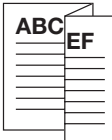
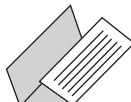
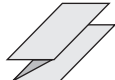
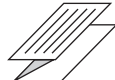
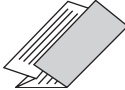
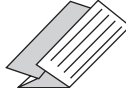
▶▶ 折り：p.3-9
参照。

▶▶ オプション：
p.6-10 参照。

折り機能を使う

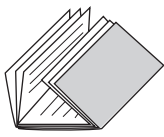
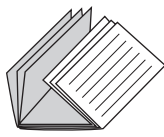
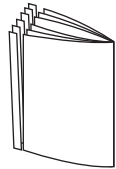
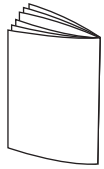
本プリンタードライバーとオプションの折り機 FD-503 またはオプションの中
とじ機（SD-506）を使用して、以下の種類の折りが設定できます。

折りの種類：

折り		必要なオプション	
 中折り（内印刷）	 中折り（外印刷）		折り機 FD-503
 Z 折り			
 内三つ折り（内印刷）	 内三つ折り（外印刷）		
 外三つ折り（内印刷）	 外三つ折り（外印刷）		
 ダブルパラレル折り （内印刷）	 ダブルパラレル折り （外印刷）		
 観音折り（内印刷）	 観音折り（外印刷）		



折りの種類：

折り		必要なオプション	
 重ね三つ折り (内印刷)	 重ね三つ折り (外印刷)		中とし機 (SD-506)
 重ね中折り (断裁あり)	 重ね中折り (断裁なし)		

MEMO

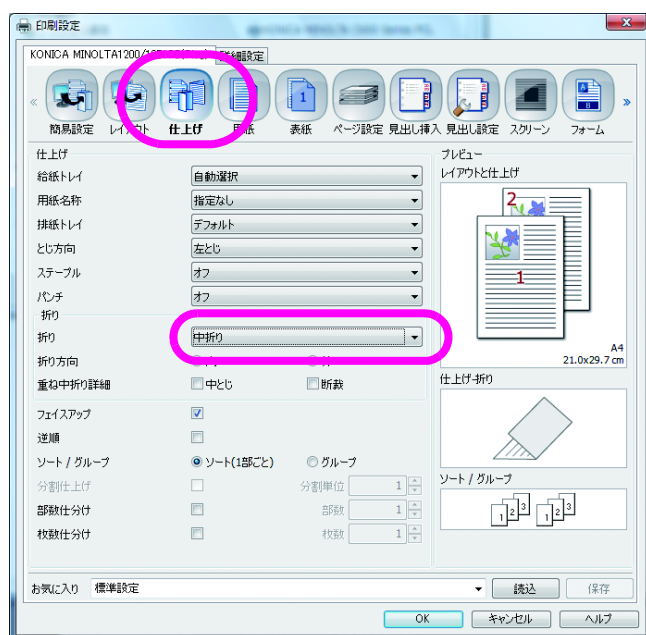
- オプションの用紙坪量については、「第6章：付録」をご覧ください。
- 折り機能を使用する前に、装置情報の更新を行い、折り機 FD-503 または、中とし機が装着されていることを確認してください。詳しくは、p.1-21 をご覧ください。

折りを設定する

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバの印刷設定画面を表示する。▶▶ p.3-3 参照

2. [仕上げ] を選択する。

3. [折り] メニューから、設定する [折り] を選択する。



4. 必要に応じて、その他の設定を行う。

5. [OK] をクリックする。

6. [印刷] をクリックする。

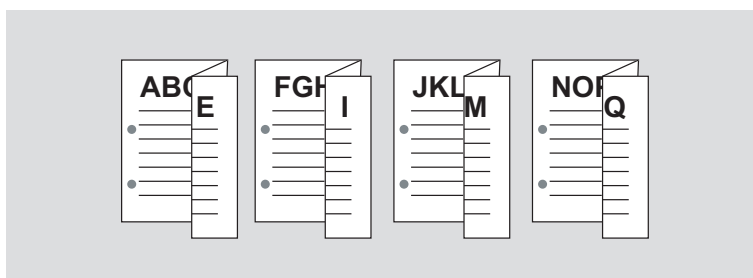


こんなことができます

折り機能を、以下の機能をあわせて設定すると便利です。

Z 折り + ステープル / パンチ穴

出力した用紙にパンチ穴をあけるパンチ機能と併用できます。オプションのステープルフィニッシャー FS-521 を装着している場合、出力した用紙をステープル止めするステープル機能と併用できます。

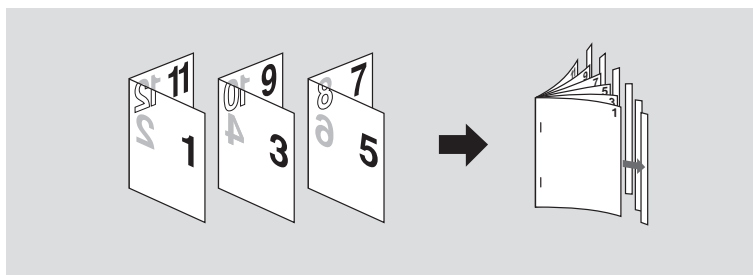


混載原稿、ステープル、パンチ穴：プリンター (PostScript3 _Plug-in ドライバー) 編を参照。

オプション：p.6-10 参照。

重ね中折り (+ 断裁) + 小冊子

週刊紙とじまたは無線とじの読み取り順になるように両面印字を行う小冊子機能と併用できます。

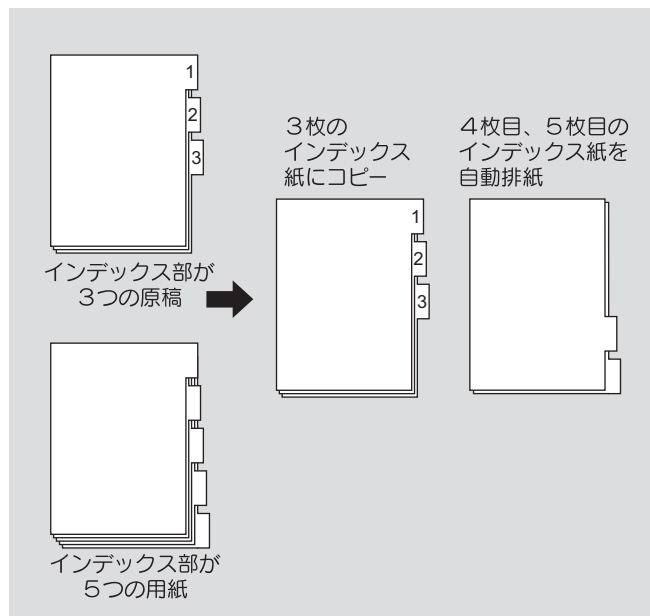


小冊子：p.3-4 参照。

インデックス紙を挿入する

本プリンタードライバーを使用して、インデックス紙を指定したページ位置に挿入して出力できます。

また、インデックス紙の見出し文字を設定できます。



Check

- インデックス紙を挿入するには、事前にインデックス紙をトレイにセットしてください。詳細は、p.1-8 をご覧ください。

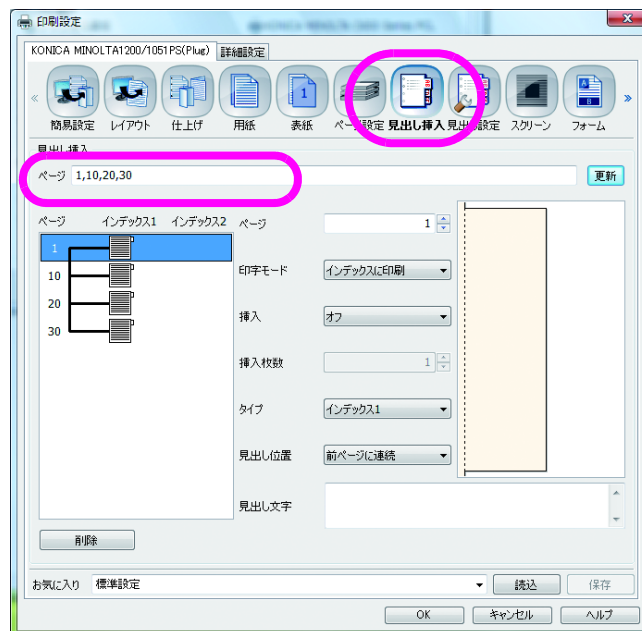
10 ページごとにインデックス紙を挿入する場合

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する。▶▶ p.3-3 参照

2. [見出し挿入] を選択する。

【次ページへ】

3. 挿入ページとして「1,10,20,30」を【ページ】に入力して【更新】をクリックする。



4. 必要に応じて、モード、挿入枚数、見出し位置、見出し文字などの設定を行う。

5. 【見出し設定】をクリックして【見出し設定】パネルを表示する。

6. 必要に応じて、【見出し設定】パネルの設定を行う。

7. 【ページ設定】をクリックして、ページごとの設定の確認をする。

▶▶ p.3-14 参照

8. 必要に応じて、その他の設定を行う。

9. 【OK】をクリックする。

10. 【印刷】をクリックする。

MEMO

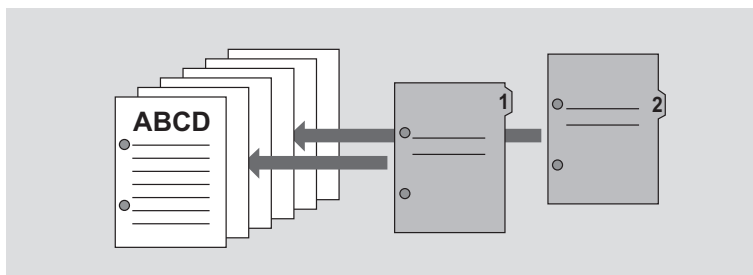
- ・【見出し挿入】パネルおよび【見出し設定】パネルの設定について、詳しくは「ユーザズガイド（プリンター（PostScript3_Plug-in ドライバー）編）」をご覧ください。

こんなことができます

インデックス紙を、以下の機能と併用して使うと便利です。

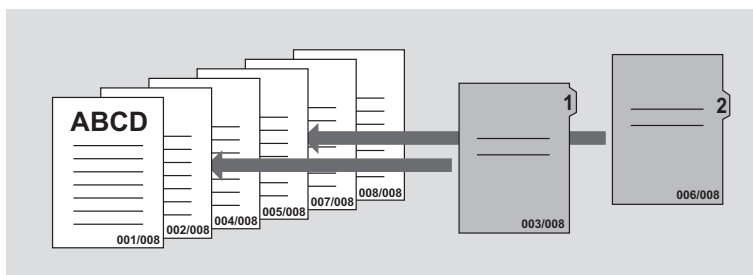
インデックス紙+パンチ穴

オプションの折り機 FD-503 を装着している場合、挿入するインデックス紙と印刷文書にパンチ穴を開けることができます。



インデックス紙+ナンバリング

各ページのナンバリングをつけるスタンプ機能と併用できます。



▶▶▶ パンチ穴：
プリンター
(PostScript3
_Plug-in ドラ
イバー) 編を
参照。

▶▶▶ オプション：
p.6-10 参照。

▶▶▶ スタンプ：
プリンター
(PostScript3
_Plug-in ドラ
イバー) 編を
参照。



ページごとに設定を変更してプリントする

章分け、パンチ、ステープルなどをページ単位で設定できます。

Check

- ページ単位でパンチ、ステープルを設定する場合、[装着情報] パネルでオプションのフィニッシャー（パンチの場合は FD-503、ステープルの場合は FS-521）が装着されていることを確認してください。詳しくは、p.1-21 をご覧ください。

ページ単位の設定を行う

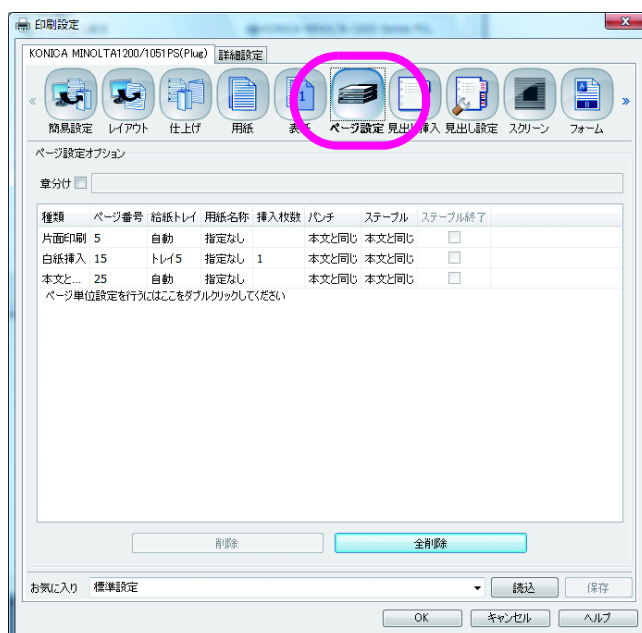
1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバの印刷設定画面を表示する。 ▶▶ p.3-3 参照



2. [ページ設定] を選択する。



3. 必要に応じて、章分け、用紙種類、ページ番号、用紙名称などの設定を行う。



4. 必要に応じて、その他の設定を行う。



5. [OK] をクリックする。



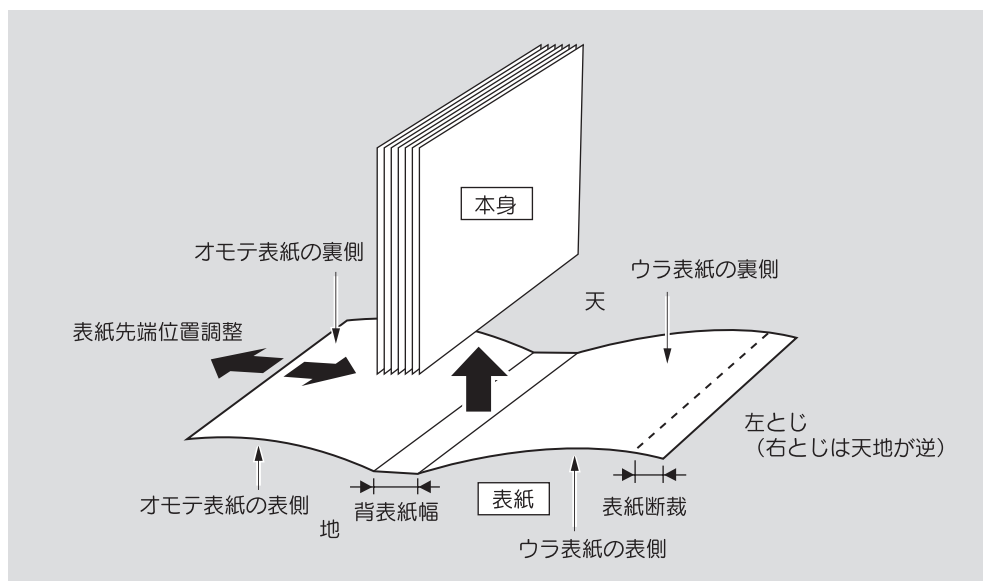
6. [印刷] をクリックする。

MEMO

- [ページ設定] パネルの設定について、詳しくは「ユーザーズガイド（プリンター（PostScript3_Plug-in ドライバー）編）」をご覧ください。
- [ページ設定] パネルで設定できる機能は以下のとおりです。
 - ・章分け
 - ・設定対象となるページ番号
 - ・用紙種類
 - ・給紙トレイ
 - ・用紙名称
 - ・挿入枚数
 - ・パンチの種類
 - ・ステープルの種類
 - ・ステープル終了位置

製本する

オプションのくるみ製本機を装着している場合、自動的に出力した用紙を束ね、背に糊を付け表紙をくるんで製本できます。



Check

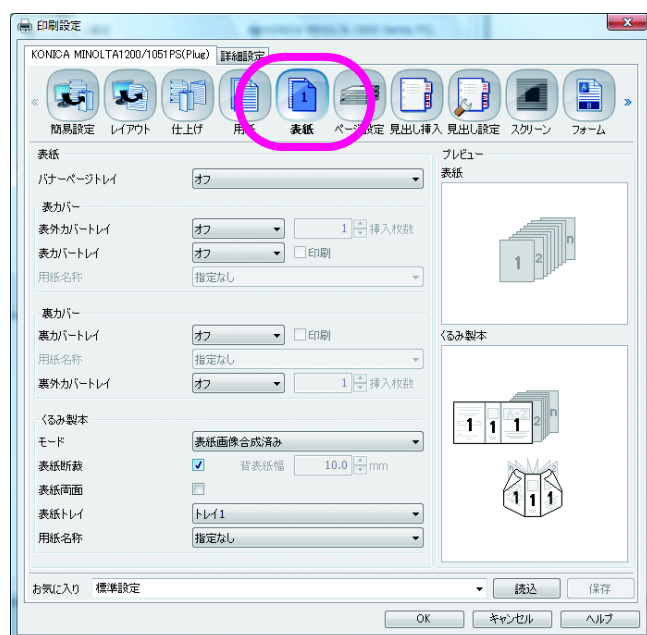
- くるみ製本を設定する場合、[情報装置] パネルでオプションのくるみ製本機 (PB-502) が装着されていることを確認してください。詳しくは、p.1-21 をご覧ください。

くるみ製本を設定する

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバの印刷設定画面を表示する。▶▶ p.3-3 参照

2. [表紙] を選択する。

3. くるみ製本のモードを選択する。



4. 必要に応じて、その他の設定を行う。

5. [OK] をクリックする。

6. [印刷] をクリックする。

MEMO

- 自動的に計算された背表紙幅の値が [表紙] パネルに表示されます。

くるみ製本のモードについて

表紙白紙モード

表紙には何も印字せず、くるみのみ行う場合使用します。
 [表紙トレイ] にセットされている原稿を表紙として扱います。
 例) [表紙白紙モード] でくるみ製本を行う場合



表紙画像合成済み

表紙に使用する紙と同じサイズに表紙、裏表紙、背表紙が面付けされた原稿が既に準備されている場合、使用します。
 表紙を両面印刷する場合は、表紙の裏面もあらかじめ作成しておく必要があります。
 例) [表紙画像合成済み] でくるみ製本を行う場合



MEMO

- [表紙画像合成済み] では、[PI トレイ]、[PB 表紙トレイ] を使用することが出来ません。
- Mac OS では、[表紙画像合成済み] を使用することができません

表紙画像 2in1

表紙は、原稿の 1 ページ目と最終ページ (n ページ) を 2 in 1 として作成し、2 ページ目から最終ページの 1 ページ前 (n-1 ページ) までを本身として印字し、背表紙は印字せず、くるみ製本を行います。
 なお、背表紙幅は本体で設定した幅に反映されます。
 例) [表紙画像 2in1] でくるみ製本を行う場合



MEMO

- [表紙画像 2in1] では、[PI トレイ]、[PB 表紙トレイ] を使用することが出来ません。

表紙画像 3in1

原稿の 1 ページ目を表表紙に、最終ページの 1 ページ前 (n-1 ページ) を裏表紙に、そして最終ページ (n ページ) の背表紙として 3 in 1 に自動で面付けした後に、表紙を印刷します。

また、2 ページ目から最終ページの 2 ページ前 (n-2 ページ) までを本身として印字します。

なお、背表紙幅は本体で設定した幅に反映されます。

例) [表紙画像 3in1] でくるみ製本を行う場合



MEMO

- [表紙画像 3in1] では、[PI トレイ]、[PB 表紙トレイ] を使用することが出来ません。

表紙断裁

くるみ製本表紙を断裁する場合、[ON] にします。

背表紙幅

背表紙の幅を設定します。

表紙両面

くるみ製本表紙を両面にしたい場合、[ON] にします。

給紙トレイ

給紙トレイを指定します。

用紙名称

既定値に従うか、用紙名称情報で登録された名称を使用するか選択します。

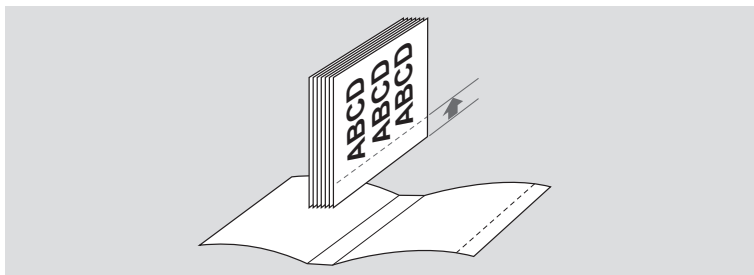


こんなことができます

くるみ製本機能では、以下の機能と併用して使うと便利です。

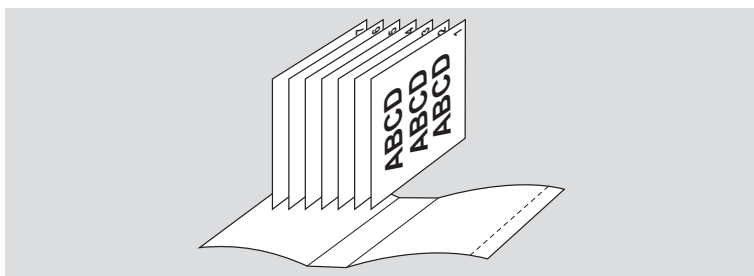
くるみ製本+画像シフト

画像を垂直水平方向にシフトして、印字位置を調整する画像シフト機能と併用できます。自身の背表紙側に余白を設定したい場合に便利です。



くるみ製本+ページ番号

各ページのページ番号をつけるスタンプ機能と併用できます。



▶▶ とじしろ：
プリンター
(PostScript3
_Plug-in ドラ
イバー) 編を
参照。

▶▶ スタンプ：
プリンター
(PostScript3
_Plug-in ドラ
イバー) 編を
参照。

第 4 章：スキャンする

ネットワークスキャナー機能について説明しています。

スキャンについて	4-2
Scan to E-Mail	4-3
Scan to SMB	4-5



スキャンについて

本機には、以下のようなスキャナー機能があります。

- Scan to HDD 機能
- Scan to E-Mail 機能
- Scan to SMB 機能
- Scan to FTP 機能
- 保存 / 読出し機能

ここでは、Scan to E-Mail 機能および Scan to SMB 機能についてを説明しています。

Check

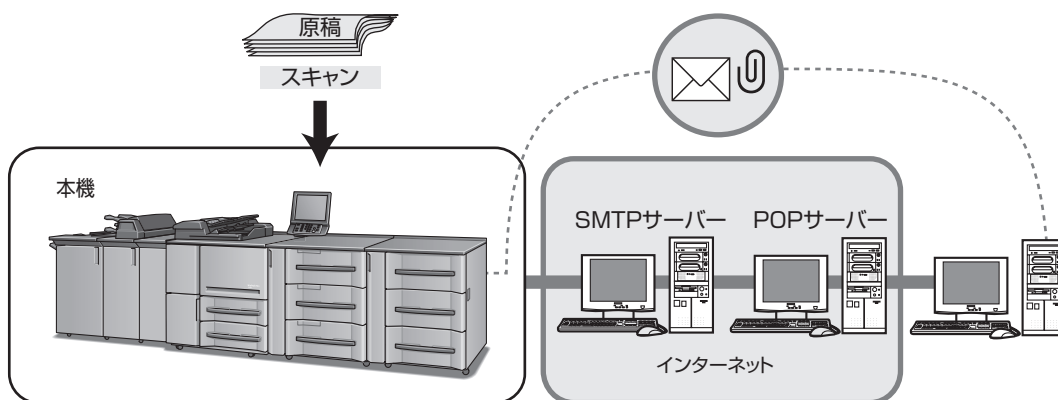
- スキャン機能を使うには、本体のネットワーク設定をしておく必要があります。ネットワーク設定については、p.6-2 をご覧ください。

MEMO

- その他のスキャナー機能については、「ユーザズガイド（ネットワークスキャナー編）」をご覧ください。

Scan to E-Mail

本機の ADF または原稿ガラスから読み込んだデータ（スキャンデータ）を E-Mail の宛先に添付ファイルとして送信できます。



スキャンデータを E-mail に添付する

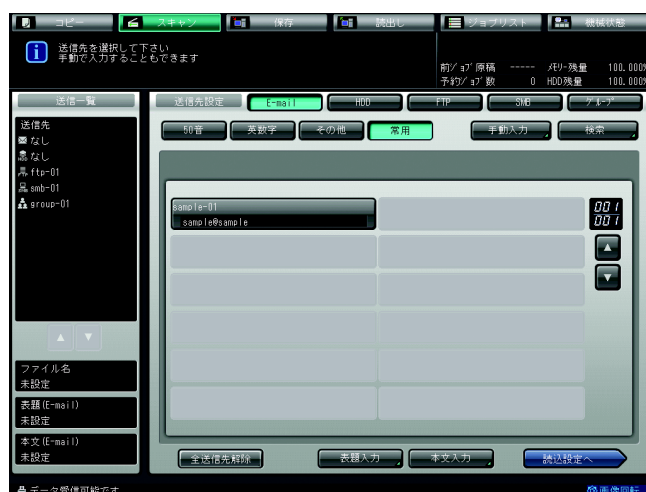
1. ネットワークの設定を行う。

▶▶ p.6-2 参照

2. スキャンする原稿をセットする。

3. タッチパネルで「スキャン」を押す。

4. 「E-mail」が選択されていることを確認する。



【次ページへ】

5. 必要に応じて【表題入力】 / 【本文入力】を押して、E-mail の表題と本文を設定する。

- 宛先を手動入力する場合：手順 6 へ
- 登録済みの宛先を指定する場合：手順 7 へ



6. [手動入力] を押して、送信先を入力する。

- 手順 8 へ

7. 一覧から送信先を選択する。

- 手順 9へ



**8. 宛先を登録する場合は、
[登録] を押す。**



9. [読込設定へ] を押す。



10. 必要に応じて読込設定をする。



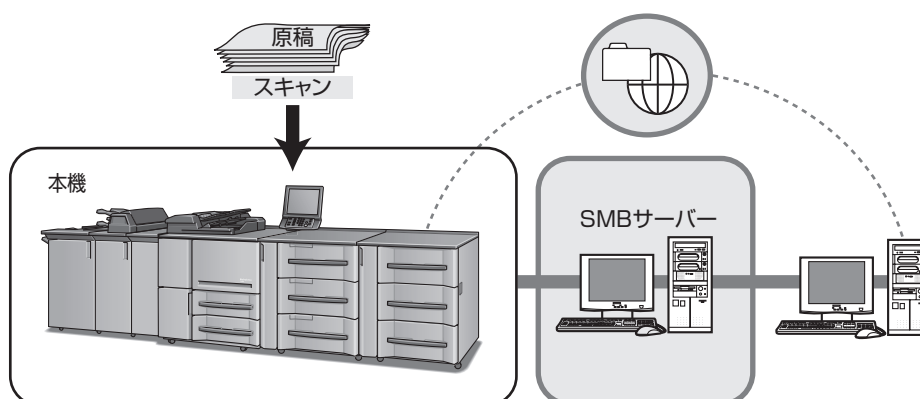
11.[スタート] を押す。

MEMO

- 送信先の登録方法については、「ユーザズガイド（ネットワークスキャナ編）」をご覧ください。

Scan to SMB

本機の ADF または原稿ガラスから読み込んだデータ（スキャンデータ）を SMB サーバーに送信します。



スキャンデータを SMB サーバーに送る

1. ネットワークの設定を行う。 ▶▶ p.6-2 参照

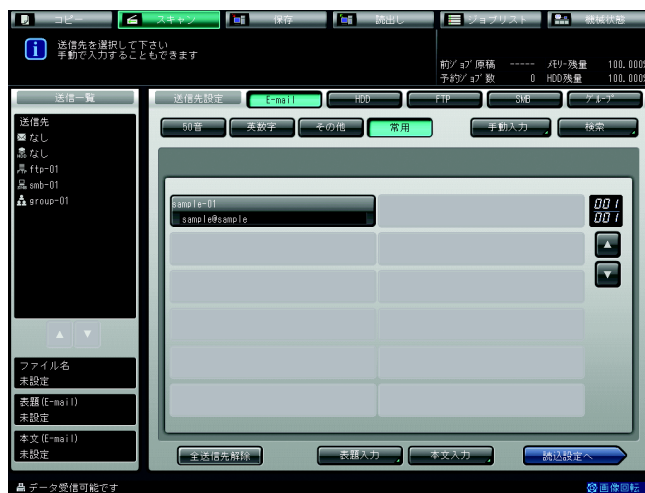
2. 必要に応じて、デスクトップに SMB フォルダーを準備する。 ▶▶ p.6-8 参照

3. スキャンする原稿をセットする。

4. タッチパネルで「スキャン」を押す。

【次ページへ】

5. [SMB] を押す。

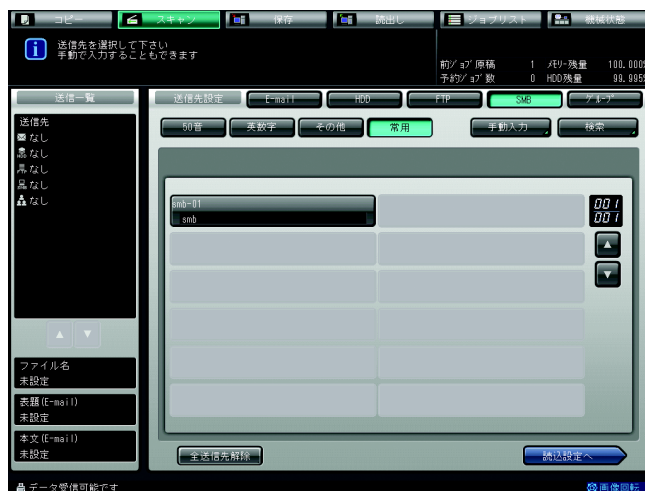


- 宛先を手動入力する場合：
手順 6 へ

- 登録済みの宛先を指定する場合：手順 7 へ

6. [手動入力] を押して、送信先を入力する。

7. 一覧から送信先を選択する。



- 手順 8 へ

- 手順 9 へ

8. 宛先を登録する場合は、[登録] を押す。

9. [読み設定へ] を押す。

【次ページへ】

10.必要に応じて読み設定をする。**11.[スタート] を押す。****MEMO**

- 送信先の登録方法については、「ユーザズガイド（ネットワークスキャナー編）」をご覧ください。

第 5 章：困ったときには

困ったときなどのトラブルシューティングを説明しています。

トナーを補給する	5-2
ジャム処理	5-6
モアレの発生について	5-7
ToneCurve Utility を使用する	5-8
表裏の位置を調整する	5-11
折り、綴じ位置、断裁量を調整する	5-16
設定がうまく機能しない	5-20



トナーを補給する

本機にはトナーボトル 1 つ分のトナーが入るトナーホッパー（トナー貯蔵庫）があります。

トナーボトルのトナーがなくなりトナーホッパーのトナーが残り少なくなると、コピー画面 / 機械状態画面に「コピー / プリントできます トナーを入れて下さい」と表示されます。トナーホッパーのトナーもなくなると、トナー補給アイコンと「トナーがなくなりました トナーボトルを交換してください」というメッセージが表示されます。

下記の手順に従ってトナーボトルを交換して、トナーを補給してください。



Check

- トナー補給扉を開いたところにトナータイプ No. が記載されているラベルが貼られています。そのナンバーと同じナンバーのトナーボトルをご使用ください。異なるトナーボトルを使用すると故障の原因になります。
- 使用済みのトナーボトルは、新しいトナーボトルについていたカバーをし、梱包箱に入れてサービス実施店にお渡しく下さい。



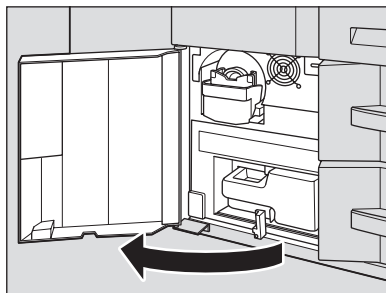
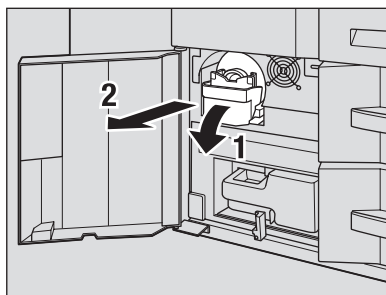
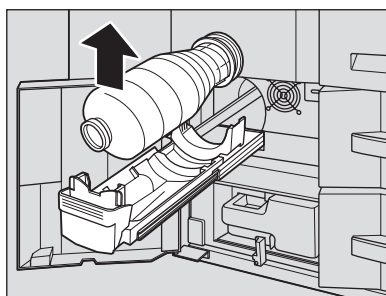
警告

- トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

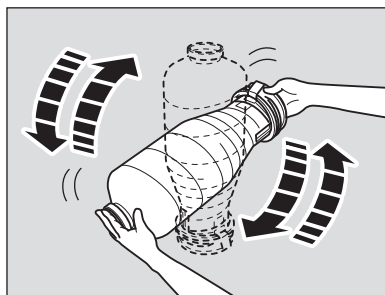
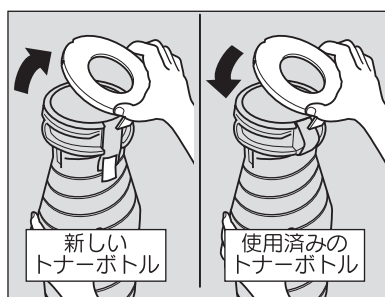


注意

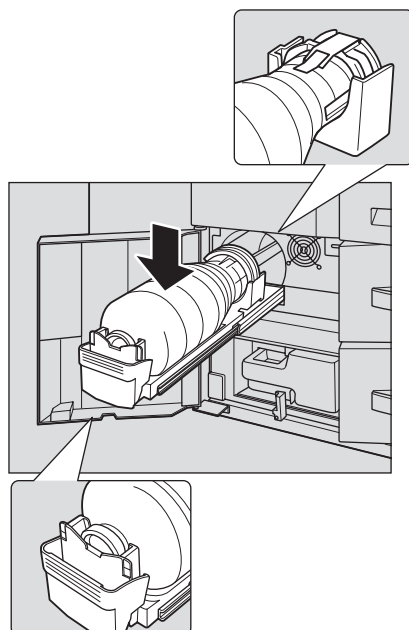
- トナーボトルは、子供の手のとどかないところに保管してください。トナーは無害ですが、過度に吸い込んだり目に入ることがないようにしてください。もし、そのようなことがあった場合は、医師の診断を受けるようにしてください。

1. トナー補給扉を開く。**2. トナーユニットレバーを前に引きながら、ボトルホルダーが止まるまで手前に引き出す。****3. 空になったトナーボトルを上を持ち上げて取り外す。**

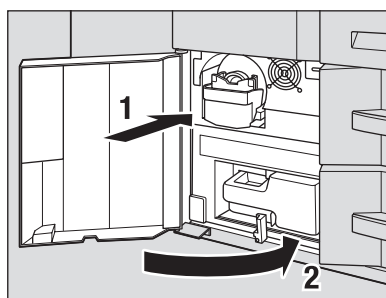
【次ページへ】

**4. 新しいトナーボトルを 5 回ほど天地が逆になるように振る。****5. 新しいトナーボトルのカバーを外し、古いトナーボトル補給口にセットする。****6. トナーボトルを取り付ける。**

- トナーボトル補給口のラベル部を上に向け、トナーボトル底部がボトルホルダーの溝にしっかり入るようにセットしてください。



【次ページへ】

**7. ボトルホルダーを元の位置にもどし、トナー補給扉を閉じる。**



ジャム処理

出力中に紙づまりが発生すると、「紙づまりです」というメッセージと、紙づまりの箇所が画面上に表示されます。

このとき、操作パネルの【スタート】のランプは赤色に変わり、紙づまりが適切に処置されるまでは、動作しなくなります。



紙づまりが複数箇所が発生していると、複数のジャム番号や矢印が点滅、または点灯しています。

点滅しているジャム番号や矢印は、最優先で処置すべき位置をあらわしています。

ジャムメッセージ表示部には処置方法が表示されています。画面表示の指示に従って紙づまり処置を行ってください。処理が終わると、機械状態画面に戻ります。

Check

- つまっている用紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内に残さないようにすべて取り除いてください。
- ドラム面に手を触れたり、傷をつけたりしないようにしてください。



注意

- 本体内部左側の定着部は高温になっており、触れると火傷をする恐れがあります。紙づまり処置時にはこの付近に手を触れないようにしてください。紙づまり処置時に定着搬送ユニットを引き出すときや、引き出した後の処置時に定着部内に手を入れないよう特にご注意ください。



注意

- つまった針でケガをすることがありますので、ステープル針づまりの処置をするときは、ご注意ください。



注意

- くるみ製本機の紙づまりの場合、糊タンクユニットは高温になっており、触れると火傷をする恐れがあります。紙づまり処置時にはこの付近に手を触れないようにしてください。糊タンクユニットが前側に出ているときは、特にご注意ください。



モアレの発生について

モアレは、印刷物上に意図せずにできてしまう模様（干渉縞）のことです。本機では、MS Office アプリケーションなどで " 透過性 " を指定した際に、原稿によってはモアレが発生することが確認されています。

ドライバー機能でモアレを回避するには、以下の3種類の手法があります。

1. スクリーン方式を変更する。(PS Plug-in / PCL ドライバー)

- デフォルトは「写真」(120lpi) です。
これを「文字写真」(170lpi) または「文字」(212lpi) に変更してください。

2. 解像度を変更する。(PS Plug-in / PCL ドライバー)

- デフォルトは 1200dpi です。
これを 600dpi に変更してください。

3. スクリーニング設定で、[スクリーン線数]、[スクリーン角度]、[ドット形状] を変更する。(PS Plug-in ドライバーのみ)

MEMO

- ・ スクリーンを変更すると画質に影響を与える場合があります。ご注意ください。



ToneCurve Utility を使用する

コンピュータから PS Plug-in ドライバーを使って、文書を印刷する場合、ToneCurve Utility を使うと、印刷する文書の明るさやコントラストを調整することができます。また登録したトーンカーブは、ネットワーク上の他のコンピュータでも使用することができます。

Check

- ToneCurve Utility で作成し、イメージコントローラーに登録したトーンカーブは、PS Plug-in ドライバーでのみ選択し、印刷に使用できます。
- ToneCurve Utility の詳細は、ヘルプファイルをご覧ください。

MEMO

- ToneCurve Utility では、テストチャートを印刷して、テストチャートの階調を確認してから、実際の印刷文書を印刷します。

ToneCurve Utility のフローチャート：

1. ToneCurve Utility を起動する。



2. プリンターを選択する。

- 任意のテストチャートを使用する場合：
手順 3 へ

- 登録済みのテストチャートを使用する場合：
手順 4 へ



3. [新規] をクリックしてファイルを選択する。

4. プルダウンリストからテストチャートを選択する。

▶▶ p.5-10 参照

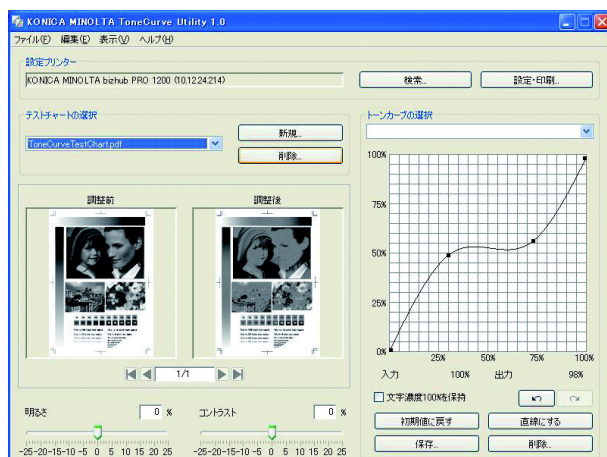


【次ページへ】

【次ページへ】

5. トーンカーブの調整をする。

▶▶▶ p.5-10 参照

**6. [印刷] をクリックして、テストチャートを確認する。**

▶▶▶ p.5-10 参照

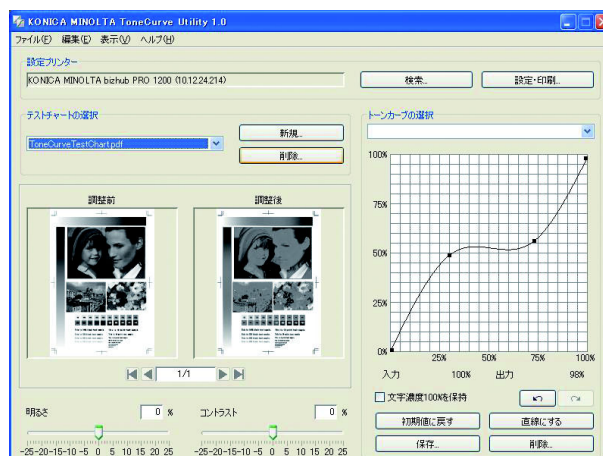
7. 問題が無ければ、トーンカーブを保存して、設定を終了する。

▶▶▶ p.5-10 参照

8. 実際に印刷したい文書を開いて、PS Plug-in ドライバー画面を表示する。**9. [スクリーン] を選択して、[設定情報取得] をクリックする。****10. [トーンカーブ] を選択する。****11. [OK] をクリックして [印刷] をクリックする。**

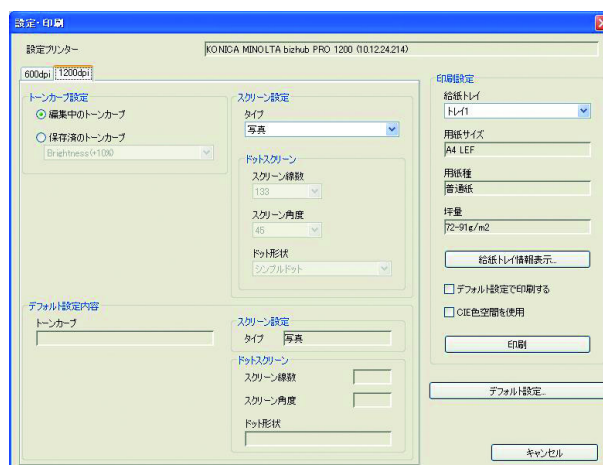


ToneCurve Utility のメイン画面



- テストチャートを追加するには、[新規] をクリックしてファイルを選択します。
- トーンカーブは [明るさ] / [コントラスト] のスライダーもしくは、トーンカーブエリアで調整点をマウスでドラッグ & ドロップして調整します。
- [保存] をクリックして、トーンカーブの設定を保存します。
- トーンカーブの出力値を 100% 未満にした場合のみ [文字濃度 100% 保持] がアクティブになります。[文字濃度 100% 保持] をチェックしない場合は、文字の濃度に注意してください。

設定・印刷画面



- トーンカーブを調整して [設定・印刷] をクリックすると、設定印刷画面が表示されます。設定・印刷設定画面では、スクリーン設定、印刷設定などを行います。
- [印刷] をクリックすると、確認用の印刷ができます。
- [デフォルト設定] をクリックして、デフォルトで使用するトーンカーブとスクリーンを指定できます。これにより、PS Plug-in ドライバーでの設定を簡略化できます。
- CIE 色空間にチェックを入れると、XYZ 色空間を経由した色変換処理を行なうため、階調性をあげることができますが、出力に時間がかかる場合があります。

表裏の位置を調整する

両面印刷の表面－裏面にずれが生じる場合は、表裏の位置調整を行えます。

【表裏調整】機能を使う

用紙登録 / 削除画面（機械状態画面）またはトレイ設定画面（機械状態画面） / 用紙予約設定画面（コピー画面）から表裏調整画面を表示すると、表裏各面での【倍率】（タテ倍 / ヨコ倍）および【イメージシフト】（上下 / 左右）を数値で指定して表裏調整を行えます。

【表裏調整】機能では、表面については紙の位置に対する位置を調整し、裏面については表面に対する位置を調整します。

1. 用紙登録 / 削除画面またはトレイ設定画面を表示する。

▶▶ p.1-11、p.1-14
参照

- 用紙登録 / 削除画面の場合：
手順 2 へ

- トレイ設定画面の場合：手
順 3 へ

2. 設定する登録先ボタンを押す。

3. 設定するトレイボタンを押す。

4. 【追加 / 編集】を押す。

5. 【設定呼出】 右の【設定変更】を押す。

6. 【表裏調整】を押す。

7. 【オモテ面】を押す。



【次ページへ】



8. 必要に応じて [タテ倍]、[ヨコ倍]、[上下]、[左右] を押して値を入力する。



9. [ウラ面] を押す。



10. 必要に応じて [タテ倍]、[ヨコ倍]、[上下]、[左右] を押して値を入力する。



11. [OK] を押す。

【チャート調整】機能を使う

トレイ設定画面（機械状態画面）から表示した表裏調整画面の【チャート調整】を押すと、チャートを出力できます。チャートに印刷された各項目をスケールで測定し、この結果を表裏調整に使用できます。

1. 表裏調整画面の【オモテ面】を押す。

▶▶ p.5-11 参照

2. 【チャート調整】を押す。



3. 【印刷モードへ】を押す。



【次ページへ】

4. 「スタート」を押す。



5. 出力されたチャートの [1] ～ [8] の数値を測定する。

6. 測定した値を入力する。

7. 「調整開始」を押す。

8. 「ウラ面」を押す。



9. 「チャート調整」を押す。

【次ページへ】

10. [印刷モードへ] を押す。**11. [スタート] を押す。****12. 出力されたチャート表面と裏面における「+」マークのずれを測定する。****13. 測定した値を入力する。****14. [調整開始] を押す。****15. 目的の位置になるまで、必要に応じて上記手順を繰り返す。**



折り、綴じ位置、断裁量を調整する

フィニッシャー調整画面で、折り、綴じ位置、断裁量を調整できます。
フィニッシャー調整画面には、以下のような調整項目があります。

フィニッシャー調整画面	
01 平とじ機調整	01 ステープルセンター位置調整
	02 紙幅調整
	03 排紙ガイド部材センター位置調整
	04 排紙ガイド部材紙幅調整
02 マルチ折り機（パンチ穴）調整	01 紙幅調整
	02 パンチ穴のタテ位置調整
03 マルチ折り機（折り）調整	01 中折り位置調整
	02 内3つ折り位置調整
	03 外3つ折り位置調整
	04 ダブル平行折り位置調整
	05 Z折り位置調整
	06 観音折り位置調整
04 スタッカージ調整	01 紙幅調整
	02 紙長調整
05 中とじ機位置調整	01 ステープルセンター位置調整
	02 ステープル紙幅調整
	03 ステープルピッチ調整
	04 中折り位置調整
	05 3つ折り位置調整
	06 折り紙幅調整
	07 断裁量調整
	08 受け木調整

フィニッシャー調整画面	
06 くるみ製本機調整	01 表紙断裁切り量調整
	02 表紙先端位置調整
	03 表紙角背形成部位置調整
	04 糊塗布開始位置調整
	05 糊塗布完了位置調整
	06 糊形成完了位置調整
	07 温度設定
	08 サブコンパイル部 CD 整合幅調整
	09 クランプ部 CD 整合幅調整
	10 表紙昇降形成部 CD 整合幅調整
	11 クランプ部 FD 整合幅調整
07 中継スタッカー（RU）調整	01 紙幅調整
	02 紙長調整

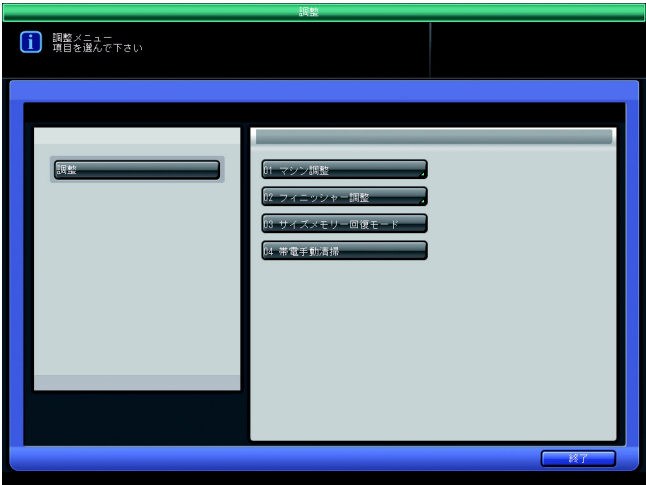
パンチ穴を調整する

ここでは例として、マルチ折り機（パンチ穴）の紙幅調整を行う方法を説明します。

1. 機械状態画面の【調整】を押す。



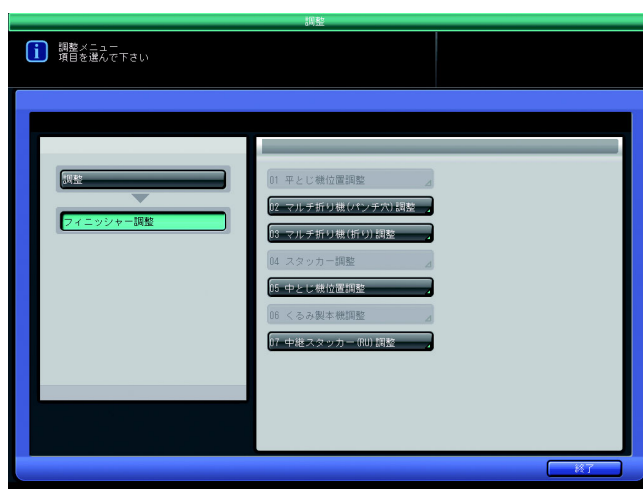
2. 【02 フィニッシャー調整】を押す。



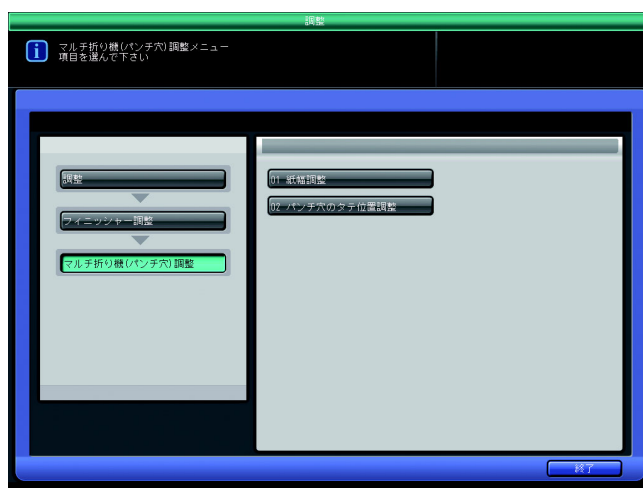
【次ページへ】



3. [02 マルチ折り機（パンチ穴）調整] を押す。



4. [紙幅調整] を押す。



【次ページへ】

5. 必要に応じて各項目に調整値を入力する。



6. [印刷モードへ] を押す。

7. [スタート] を押す。

8. 目的の紙幅になるまで、必要に応じて上記手順を繰り返す。

9. 調整後、[前画面] 押す。

MEMO

- 他のフィニッシャ調整も同様の手順で行うことができます。各項目の設定方法については、「ユーザズガイド（POD 管理者編）」をご覧ください。



設定がうまく機能しない

本節では、設定がうまく機能しない場合の基本的な対処の流れを記載しています。

MEMO

- 各手順の詳細については、各ユーザーズガイドを参照してください。



ネットワーク接続について

ネットワークについてのトラブルは、以下の手順で確認します。

1. コピー機の主電源を確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



2. ネットワークケーブルの接続を確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



3. 接続先の IP アドレスが正しいか確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



4. 接続先の IP アドレスへの「ping」を実行し、接続を確認する。

- 例：C:¥>ping 192.168.0.1
問題がなければ、次のステップを行います。



5. IP ルータの設定が正しいか確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



6. 接続ルートのトレースを行い、ネットワーク内で問題が発生しているか確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



7. サービス実施店へご連絡ください。



その他のトラブルについて

その他の問題がある場合は、以下を確認します。

コピー機能の場合

1. コピー機の主電源を確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



2. サービスコール画面が表示されていないことを確認する。

- サービスコール画面が表示されている場合は、電源オフ/オンを行い、▶▶ p.1-2 参照
オン後に復旧しない場合は、手順 6 へ進みます。
問題がなければ、次のステップを行います。



3. [スタート] が赤色ではないことを確認する。

- [スタート] が赤色の場合、表示されているメッセージに従って問題を解決します。
問題がなければ、次のステップを行います。



4. [機械状態] タブがオレンジ色ではないことを確認する。

- [機械状態] タブがオレンジ色の場合、表示されているメッセージに従って問題を解決します。
問題がなければ、次のステップを行います。



5. 操作パネルにその他メッセージが表示されていないことを確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



6. サービス実施店へご連絡ください。



プリンター機能の場合

1. コピー機の主電源を確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



2. プリンタードライバーがインストールされていることを確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



3. プリンタードライバーのプロパティ画面－「装置情報」タブで正しく装置情報が取得されていることを確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



4. 「コピー機能の場合 (p.5-21)」記載の手順 1 ～手順 5 の確認を行う。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



5. 「ネットワーク接続について (p.5-20)」記載の手順 2 ～手順 6 の確認を行う。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



6. サービス実施店へご連絡ください。

スキャナー機能の場合

1. タッチパネルに表示される「HDD 残量」を確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



2. PageScope Web Connection 画面でプリンター用 HDD の残量を確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



3. 「ネットワーク接続について (p.5-20)」記載の手順 1 ～手順 6 の確認を行う。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



4. 関連するネットワークの管理者設定が正しく行われているかを管理者に確認する。

- 問題がなければ、次のステップを行います。



5. サービス実施店へご連絡ください。

第 6 章：付録

ネットワーク設定、連量 / 坪量およびオプションの仕様
について説明しています。

本機のネットワーク設定について	6-2
SMB フォルダーの準備について	6-8
坪量 / 連量換算について	6-9
オプションの仕様	6-10



本機のネットワーク設定について

ここでは、本機をプリンターとして使う場合、および本機のスキャン機能を使う場合に必要となる、ネットワーク設定について説明しています。

MEMO

- その他のネットワーク設定については、「ユーザズガイド（POD 管理者編）」をご覧ください。



TCP/IP を有効にする

本機をプリンターとして使う場合、および本機のスキャン機能を使う場合に設定します。

1. 管理者設定メニュー画面の [04 ネットワーク設定] を押す。



2. [02 コントローラ NIC 設定] を押す。



3. [01 TCP/IP 設定] を押す。



4. [TCP/IP 設定] の [有効] を押す。



5. [IP 確定方法] の [直接指定] または [自動設定] を押す。

- [直接指定] を選択した場合：
手順 6 へ



【次ページへ】

- [自動設定] を選択した場合：
手順 9 へ



【次ページへ】



6. [IP アドレス] の [変更]
を押して入力画面を表示
し、IP アドレスを入力後
[OK] を押す。



7. [サブネットマスク] の
[変更] を押して入力画面
を表示し、サブネットマ
スクを入力後 [OK] を押
す。



8. [デフォルトゲートウェ
イ] の [設定] を押して
入力画面表示し、デフォ
ルトゲートウェイを入力
後 [OK] を押す。



9. 必要に応じてその他の設定を行い、[OK] を押す。



10. [終了] を押してコントローラ NIC 設定画面を閉じる。



11. 電源をオフ / オンする。

▶▶ p.1-2 参照

MEMO

- 設定の詳細については、「ユーザズガイド (POD 管理者編)」をご覧ください。



SMB 機能を有効にする

本機で SMB 印刷機能を使う場合、および本機で Scan to SMB 機能を使う場合に設定します。

1. 管理者設定メニュー画面の [04 ネットワーク設定] を押す。



2. [02 コントローラ NIC 設定] を押す。



3. [06 SMB 設定] を押す。

- 本機で SMB 印刷機能を使う場合：
手順 4 へ



4. [プリント設定] の [有効] を押す。



5. 必要に応じて [NetBIOS 名] の [変更] を押して、NetBIOS 名を入力する。



6. [プリントサービス名] の [変更] を押して入力画面を表示し、プリントサービス名を入力後 [OK] を押す。



【次ページへ】

- 本機で Scan to SMB 機能を使う場合：
手順 8 へ



【次ページへ】

7. [ワークグループ] の [変更] を押して入力画面を表示し、ワークグループを入力後 [OK] を押す。

8. [SMB 送信設定] の [有効] を押す。



9. 必要に応じてその他の設定を行い、[OK] を押す。

10. [終了] を押してコントローラ NIC 設定画面を閉じる。

11. 電源をオフ / オンする。

▶▶ p.1-2 参照

MEMO

- 設定の詳細については、「ユーザーズガイド (POD 管理者編)」をご覧ください。



E-Mail 送信設定を行う

本機で Scan to E-Mail 機能を使う場合に設定します。

1. 管理者設定メニュー画面の [04 ネットワーク設定] を押す。



2. [02 コントローラ NIC 設定] を押す。



3. [09 E-mail] を押す。



4. [SMTP 設定] の [有効] を押す。



5. [SMTP サーバーアドレス] を押して入力画面を表示し、SMTP サーバアドレスを入力後 [OK] を押す。



6. [ポート番号] を押して入力画面を表示し、ポート番号を入力後 [OK] を押す。



7. [接続タイムアウト時間] を押して入力画面を表示し、接続タイムアウト時間を入力後 [OK] を押す。



8. [バイナリー分割] の [有効] または [無効] を押す。

● [有効] を選択した場合：
手順 9 へ

● [無効] を選択した場合：
手順 11 へ



9. [分割メールサイズ] を押して入力画面を表示し、バイナリ分割サイズを入力後 [OK] を押す。



【次ページへ】

【次ページへ】

- 10.** [サーバー容量] を押して
入力画面を表示し、送信
メール最大サイズを入力
後 [OK] を押す。



- 11.** 必要に応じてその他の設定を行い、[OK] を押す。

- 12.** [終了] を押してコントローラ NIC 設定画面を閉じる。

- 13.** 電源をオフ / オンする。

▶▶ p.1-2 参照

MEMO

- 設定の詳細については、「ユーザーズガイド (POD 管理者編)」をご覧ください。
- 管理者メールアドレスの設定については、「ユーザーズガイド (POD 管理者編)」をご覧ください。



SMB フォルダーの準備について

本機の Scan to SMB 機能を使用して、スキャンデータをご使用のコンピューターの共有フォルダー（SMB フォルダー）に転送する場合、あらかじめ共有フォルダーを作成しておく必要があります。

Check

- ここでは、Windows Vista のデスクトップ上に共有フォルダー（SMB フォルダー）を作成する場合の手順について説明します。



デスクトップに共有フォルダーを作成する

1. デスクトップの右クリックメニューから [新規作成] - [フォルダ] を選択する。

2. 作成したフォルダの名前を必要に応じて変更する。

3. 作成したフォルダの右クリックメニューから [共有] を選択する。

4. テキストボックスにファイルを共有するユーザーアカウントを入力し、[追加] をクリックする。

5. 追加したユーザーアカウントの [アクセス許可のレベル] 列をクリックして表示される一覧から、アクセス許可のレベルを選択する。

6. [共有] をクリックする。

坪量 / 連量換算について

用紙の重さ：坪量 (g/m²) と連量 (kg) の換算表
(四六判／A列本判／B列本判／菊判)

坪量 (g/m ²)	連量 (kg) (四六判)	連量 (kg) (A列本判)	連量 (kg) (B列本判)	連量 (kg) (菊判)
40 ~ 49 g/m ²	34.5 ~ 42.5	22.0 ~ 26.5	33.5 ~ 41.0	24.0 ~ 29.5
50 ~ 61 g/m ²	43.0 ~ 52.5	27.0 ~ 33.0	41.5 ~ 50.5	30.0 ~ 36.0
62 ~ 71 g/m ²	53.0 ~ 61.0	33.5 ~ 39.0	51.0 ~ 59.0	36.5 ~ 42.0
72 ~ 91 g/m ²	62.5 ~ 78.0	39.5 ~ 50.0	59.5 ~ 75.5	42.5 ~ 54.0
92 ~ 130 g/m ²	78.5 ~ 112.0	50.5 ~ 71.5	76.0 ~ 108.0	54.5 ~ 77.5
131 ~ 161 g/m ²	112.5 ~ 138.0	72.0 ~ 88.5	108.5 ~ 134.0	78.0 ~ 96.0
162 ~ 216 g/m ²	138.5 ~ 186.0	89.0 ~ 119.0	134.5 ~ 179.5	96.5 ~ 129.0
217 ~ 244 g/m ²	186.5 ~ 210.0	119.5 ~ 135.0	180.0 ~ 203.0	129.5 ~ 146.0
245 ~ 300 g/m ²	210.5 ~ 258.0	135.5 ~ 165.0	203.5 ~ 249.0	146.5 ~ 179.0
301 ~ 350 g/m ²	258.5 ~ 301.0	165.5 ~ 193.5	249.5 ~ 291.0	179.5 ~ 209.0

ペーパーの厚みを表す単位として、坪量 (g/m²) と連量 (kg) があり、製紙メーカーにより使用している単位が異なります。本機での設定には坪量を使用しますので、連量から坪量に換算した数値を上記表に示しました。

- 坪量 (g/m²) : 1m² の用紙 1 枚の質量をグラムで表した単位。
- 連量 (kg) : 所定サイズ of 用紙 (ここでは四六判、788mmx1,091mm) 1000 枚の質量をキログラムで表した単位。

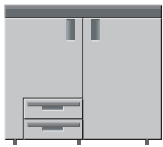
MEMO

- ヘルプ画面で坪量換算表を確認することができます。操作パネルの【ヘルプ】を押し、ヘルプ画面を表示させてください。



オプションの仕様

主なオプションには下記のものがあります。

オプション	坪量	枚数	最大用紙サイズ*	機能
 大容量給紙トレイ PF-702	40g/m ² ~ 350g/m ²	2,000 枚 (80g/m ²)	324mm × 463mm	給紙
 サクション式 大容量給紙トレイ PF-703	40g/m ² ~ 350g/m ²	上段： 1,300 枚 (80g/m ²) 中段 / 下段： 1,850 枚 (80g/m ²)	324mm × 463mm	給紙
 ステープル フィニッシャー FS-521	40g/m ² ~ 350g/m ²	メイントレイ： 3,000 枚 (80g/m ²) サブトレイ： 200 枚 (80g/m ²)	メイントレイ： 331mm × 483mm サブトレイ： 331mm × 488mm	ステープル
 中とじ機 SD-506	サブトレイ： 40g/m ² ~ 350g/m ² 折り / とじトレイ： 50g/m ² ~ 244g/m ² 3つ折りトレイ： 50g/m ² ~ 91g/m ²	サブトレイ： 200 枚 (80g/m ²) 折り / とじトレイ： <中とじ> 50 枚 (50 ~ 81g/m ²) または 49 枚 +1 枚 (200g/m ²) <中折り> 30 部 3つ折りトレイ： 20 部	サブトレイ： 331mm × 488mm 折り / とじトレイ： 324mm × 463mm 3つ折りトレイ： A4、8.5 × 11	中とじ 断裁 重ね折り

オプション	坪量	枚数	最大用紙サイズ	機能
 折り機 FD-503	メイントレイ / サブトレイ： $40\text{g/m}^2 \sim 350\text{g/m}^2$ 折りトレイ： $50\text{g/m}^2 \sim 130\text{g/m}^2$	メイントレイ： 2,500 枚 (80g/m^2) サブトレイ： 200 枚 (80g/m^2) 折りトレイ： 30 部	メイントレイ： $331\text{mm} \times 483\text{mm}$ サブトレイ： $331\text{mm} \times 488\text{mm}$ 折りトレイ： $305\text{mm} \times 458\text{mm}$	表紙 インサート 用紙 パンチ 中折り 内 3 つ折り 外 3 つ折り Z 折り ダブルパラ レル折り 観音折り
 サクショ式 大容量トレイ PF-703 (PI-PFU)	$40\text{g/m}^2 \sim 350\text{g/m}^2$	上段： 1,300 枚 (80g/m^2) 中段 / 下段： 1,850 枚 (80g/m^2)	$324\text{mm} \times 472\text{mm}$	給紙
 大容量スタッカー LS-505	メイントレイ： $50\text{g/m}^2 \sim 244\text{g/m}^2$ サブトレイ： $40\text{g/m}^2 \sim 350\text{g/m}^2$	メイントレイ： 5,000 枚 (80g/m^2) サブトレイ： 200 枚 (80g/m^2)	メイントレイ： $331\text{mm} \times 483\text{mm}$ サブトレイ： $331\text{mm} \times 488\text{mm}$	水平スタッ ク
 くるみ製本機 PB-502	表紙トレイ： $72\text{g/m}^2 \sim 161\text{g/m}^2$ 製本トレイ $62\text{g/m}^2 \sim 91\text{g/m}^2$ サブトレイ： $40\text{g/m}^2 \sim 350\text{g/m}^2$	表紙トレイ： 1,000 枚 (80g/m^2) 製本トレイ 6,600 枚 (80g/m^2) サブトレイ： 200 枚 (80g/m^2)	表紙トレイ： $330\text{mm} \times 472\text{mm}$ 製本トレイ $307\text{mm} \times 472\text{mm}$ サブトレイ： $331\text{mm} \times 488\text{mm}$	くるみ製本

MEMO

- ・ 表中のオプションが対応する用紙種類は、塗工紙、追い刷り紙、上質紙、普通紙、書籍用紙、ラフ紙、未印字挿入紙です。

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル: 0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

2009 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

Printed in China

A0G6960400

2009. 4